平成24年度　ふじのくにNPO活動基金「新しい公共の場づくりモデル事業」

市民活動団体実態調査
報告書

平成25年1月

特定非営利活動法人　磐田まちづくりネットワーク

市民活動団体実態調査

＜ 目 次 ＞

Ⅰ　調査の概要・・・ 1

１　調査の概要・・ 2

２　調査結果の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅱ　調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

１　団体について・・・ 5

２　団体の活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

３　協働について・・・ 6

４　磐田市市民活動センターについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

Ⅲ調査結果・・・ 7

１　団体について・・ 8

２　団体の活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

３　協働について・・・ 25

４　磐田市市民活動センターについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

Ⅳ　質問と回答（単純集計結果）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

Ⅴ　付録・・・ 64

アンケート調査表・・ 65

Ⅰ　調査の概要

１　調査の概要

①調査の目的

②調査の方法

③調査の項目

④回収結果

２　調査結果の見方

1　調査の概要

①　調査の目的

近年社会情勢が著しく変化していく中で、これまでのような行政主導のまちづくりから市民主体のまちづくりへの変革が求められ、市民活動団体は新しい公共社会の担い手としての大きな役割が期待されている。

そこで、磐田市内の社会貢献等社会的な活動を実施する市民活動団体やグループについて、活動の目的・内容・課題及び協働の意識などに関する調査を実施し、活動の理解を深め、活性化を図ることにより、協働のまちづくりを推進する。

②　調査の方法

（1）調査対象……磐田市内の市民活動団体（自治会を除く）
（2）調査方法……往復郵送（対象団体に調査票を送付し、記入後返送してもらい回収）
（3）調査期間……平成24 年 9月 ～ 12月

③　調査項目

（1）団体の活動について
- ・主な活動場所
- ・平成23年度の活動規模
- ・財源について
- ・活動のタイプ
- ・今後実施したい社会貢献活動
- ・現在の活動に満足しているか
- ・現在の活動で不足しているもの
- ・他団体との交流や協力して社会貢献活動することについてどう思うか

（2）協働について
- ・協働という言葉を知っているか
- ・協働の意味を知っているか
- ・協働による活動や事業を実施したことがあるか
- ・他者との協働が必要であると思うか
- ・団体にとって必要なものはなにか
- ・どのような協働の方法を望むか
- ・協働のまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要だと思うか
- ・団体が捉える地域社会の困りごとやあったらいいなと思われるサービス

（3）市民活動センターについて
- ・磐田市市民活動センターを知っているか
- ・市民活動を推進するために、市民活動センター及び行政に求めること

④　回収結果

（1）調査票送付数 419団体
（2）回収数 231団体（有効回答数227団体）
（3）回収率 55%

２ 調査結果の見方

（1）集計は小数第2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。

（2）基数となる実数はｎ（Nunber of Cases の略）として掲載し比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。

（3）１人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示している。この場合、その合計が基数を上回ることがある。

Ⅱ　調査結果の概要

１　団体について

２　団体の活動について

３　協働について

４　磐田市市民活動センターについて

1 団体について

〇活動の種類としては、「子どもの健全育成に関わる活動」が34%と最も多く、「保健・医療・福祉の活動」が27%、「まちづくりに関する活動」が26%となっている。

〇活動地域は、「磐田市全域」が33%と最も多く、「見付地区」「豊田地区」が11%、「西貝、御厨、南御厨、田原地区」「静岡県西部」が10%となっている。

〇団体の会員数は、「11～20人」が24%と最も多く、「1～10人」が18%、「21～30人」が14%となっている。磐田市では会員数が30人未満の団体が56%と約半数を占める。「100人以上」の団体が12%となっているのは複合組織や自治会で活動している団体などが含まれるからである。

〇団体の平均年齢は、「60歳代」が34%と最も多く、「50歳代」18%、「70歳以上」14%となっている。50歳以上が66%を占め、活動の中心年代は50歳以上であった。

〇設立年度は、「平成10～20年」が35%と最も多く、「平成20年以降」が17%、「平成元年～10年」が15%とつづいている。全体の約7割が平成以降に設立した団体でその中でも平成10年以降に設立した団体が多い。

〇会費については、「あり」が55%、「なし」が33%であった。

2 団体の活動について

〇主な活動場所は市立公民館、自治会公会堂、福祉施設などを使っている団体が多いが、公園や道路、河川などの野外で行っている団体も多い。

〇活動規模は、50万円未満が約7割を占めている。財源については、会費がある団体は主に「会費」次いで「行政からの補助金」、会費のない団体は「行政からの補助金」が主な財源になっている。今後伸ばしていきたい財源は、「民間からの補助金・助成金」や「行政からの補助金」が多く、補助金や助成金に頼りたい意識がうかがえるが、「未回答」が55%と約半数を超えているのは現状でほぼ満足している団体もあると考えてよいかもしれない。

〇活動については、「社会的な活動」を行っている団体が77%であった。今後実施したい活動分野は、「子どもの健全育成に関わる活動」や「まちづくりに関する活動」「保健・医療・福祉の活動」などが多い。
現在の活動に満足しているかどうか聞いたところ「満足している」と答えたのは全体の65%であった。理由はボラ ンティアや参加者が意欲的、充実した活動をしているなどである。「満足していない」30%の理由は、会員の減少、仕事と活動の両立が難しいなどであった。

〇現在の活動で不足していると感じるものは、「会員」「活動資金」「スタッフ」「リーダー」「ボランティア」などで人材に関する不足の割合が約5割を占めている。人材発掘・育成に関わる機会の場の提供などによる環境づくりへの支援が必要である。

〇他団体との交流や協力して社会貢献活動を行うことについては、全体の7.5割に前向きな姿勢がみられる。また、「場合によっては可能」や「活動してみたい」と回答した団体へは、働きかけの工夫が必要である。

3 協働について

〇「協働」という言葉を約8割の団体が「知っている」と回答し、「協働」という言葉が広まってきている。「協働の意味」を「知っている」団体は約7割で言葉を知っている割合より1割程度少なくなっているが、協働による活動や事業を実施したことが「ある」団体は約3割と少ないことから、協働のリーフレット、手引き、事例集などを用い、よりよい協働の在り方や手法、メリットなどを伝え、協働しやすい環境づくりが必要である。

〇他者との協働が必要かの問に対しては、「必要である」「必要ではない」ともに全体の約5割であり、クロス集計の結果現在の活動に満足していない団体の方が、協働は「必要である」と答えた割合が高く、実際に協働事業を実施したことがある団体の約8.5割が協働は「必要である」と感じている。また、「必要ではない」と答えた団体の理由は「協働の必要性を感じないから」「自分達だけで活動したいから」「複雑になり面倒だから」などの回答が多かった。

※問4で他者との協働が必要と答えた人のみ

〇団体にとって必要なものは、「他団体との交流・連携・協働」が約8割と多く、次いで「行政との交流・連携・協働」が約6割となった。他団体、行政との交流・連携・協働しやすい環境づくりをしていくことが必要である。

〇望む協働の方法は、「情報交換・意見交換」が約7割と多く、情報交換や意見交換の場の提供方法に工夫が必要である。「事業協力」「事業共催」も約4割あり、様々な団体・個人とのネットワークの形成といった支援者や参加者の拡大とともに、それぞれの役割を明確にしながら事業を進めていく事が大切である。

〇協働のまちづくりを進めていくために団体に必要なことは、「参加しやすいしくみ」が約4割と多く、「人材発掘・育成」「社会貢献活動への理解」「情報提供」が約3割であり、参加しやすいしくみづくりをめざして市民意識の醸成と人材育成・発掘が必要である。

4 市民活動センターついて

〇市民活動センターについて「知っている」が約7割となり、平成20年度旧磐田NPO交流センター時の調査では58%であったが、豊田支所内への移転に伴い名称変更、愛称採用、設置条例等の整備により認知度はあがっている。
〇センターを知っている理由は、「利用している」「利用したことがある」を合せて約6割であり、「聞いたことがある」団体へのセンターを使うことのメリットを伝えていく必要がある。

Ⅲ　調査結果

１　団体について

２　団体の活動について

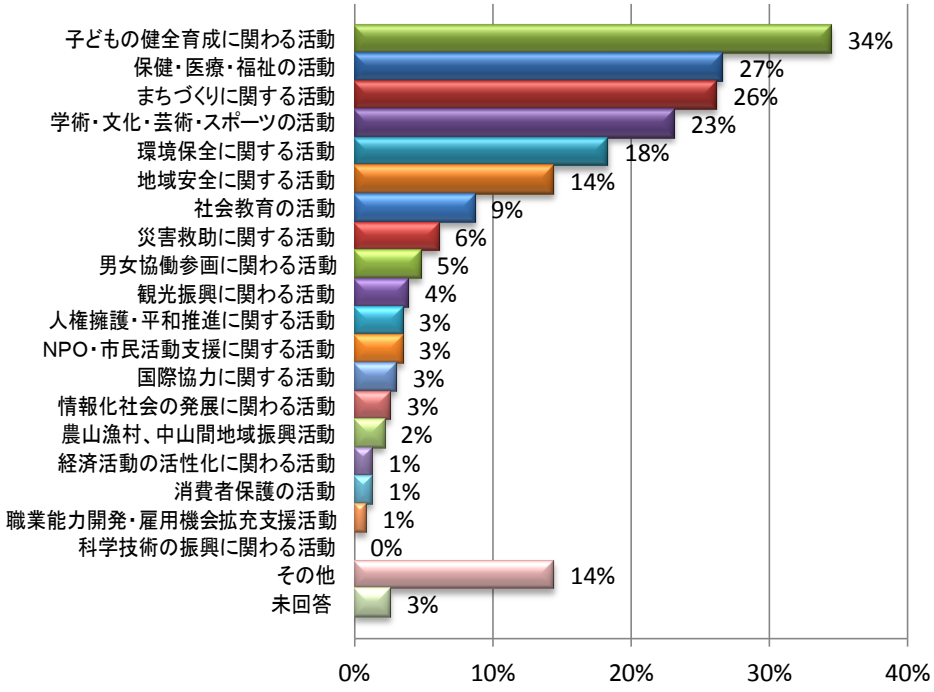
３　協働について

４　磐田市市民活動センターについて

1　団体について

問1　活動の種類（複数回答）

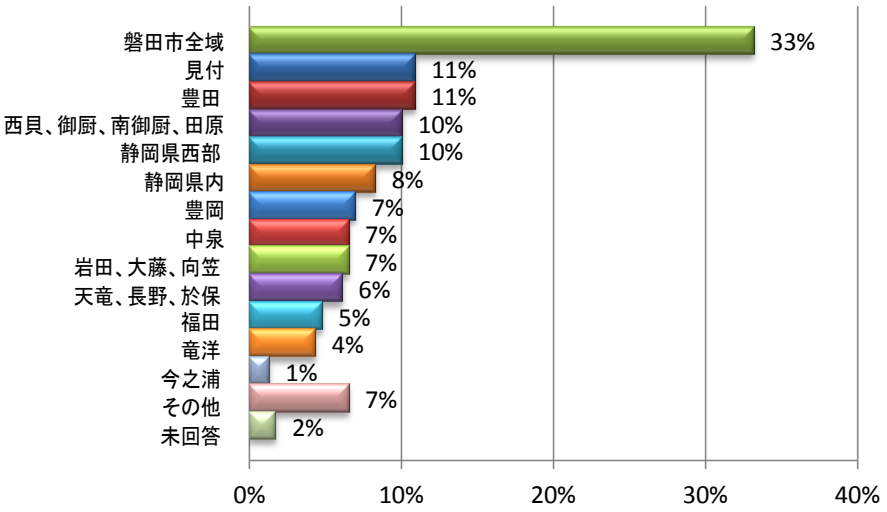
活動の種類としては、「子どもの健全育成に関わる活動」が34%と最も多く、「保健・医療・福祉の活動」が27%、「まちづくりに関する活動」が26%とつづいている。



活動分野	回答数	割合
子どもの健全育成に関わる活動	79	34%
保健・医療・福祉の活動	61	27%
まちづくりに関する活動	60	26%
学術・文化・芸術・スポーツの活動	53	23%
環境保全に関する活動	42	18%
地域安全に関する活動	33	14%
社会教育の活動	20	9%
災害救助に関する活動	14	6%
男女協働参画に関わる活動	11	5%
観光振興に関わる活動	9	4%
人権擁護・平和推進に関する活動	8	3%
NPO・市民活動支援に関する活動	8	3%
国際協力に関する活動	7	3%
情報化社会の発展に関わる活動	6	3%
農山漁村、中山間地域振興活動	5	2%
経済活動の活性化に関わる活動	3	1%
消費者保護の活動	3	1%
職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	2	1%
科学技術の振興に関わる活動	0	0%
その他	33	14%
未回答	6	3%

問2　活動地域（複数回答）

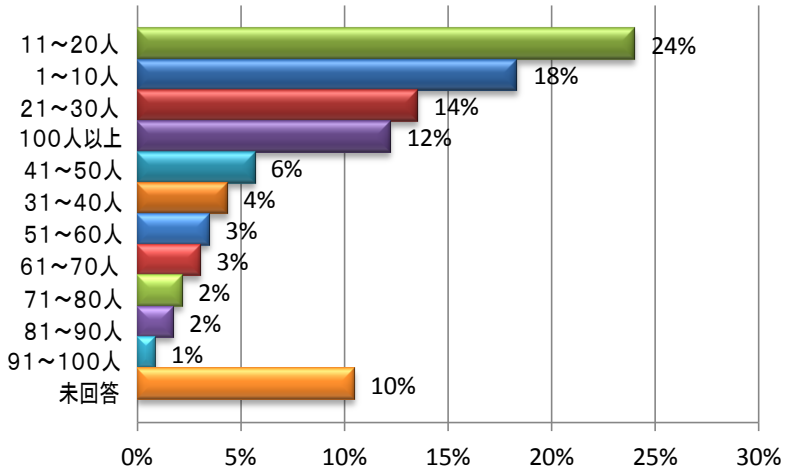
活動地域は「磐田市全域」が33%と最も多く、「見付地区」「豊田地区」が11%、「西貝、御厨、南御厨、田原地区」「静岡県西部」が10%とつづいている。



活動の範囲	回答数	割合
磐田市全域	76	33%
見付	25	11%
豊田	25	11%
西貝、御厨、南御厨、田原	23	10%
静岡県西部	23	10%
静岡県内	19	8%
豊岡	16	7%
中泉	15	7%
岩田、大藤、向笠	15	7%
天竜、長野、於保	14	6%
福田	11	5%
竜洋	10	4%
今之浦	3	1%
その他	15	7%
未回答	4	2%

問3　団体の会員数

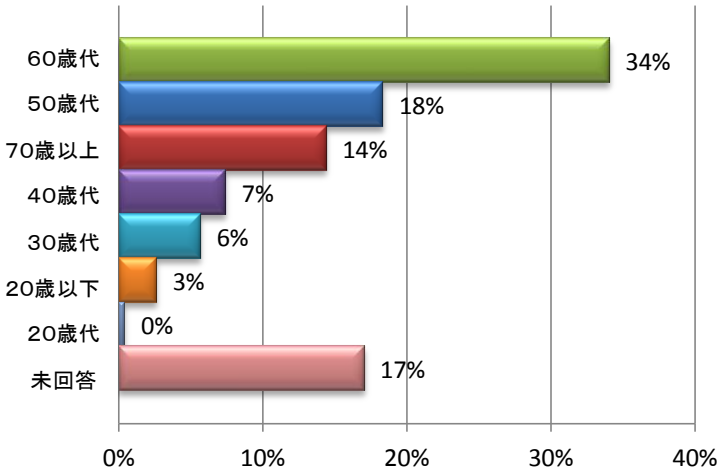
団体の会員数は「11～20人」が24%と最も多く、「1～10人」が18%、「21～30人」が14%とつづいている。磐田市では会員数が30人未満の団体が56%と約半数を占める。「100人以上」の団体が12%あるのは複合組織や自治会で活動している団体などが含まれるからである。



会員数	回答数	割合
11～20人	55	24%
1～10人	42	18%
21～30人	31	14%
100人以上	28	12%
41～50人	13	6%
31～40人	10	4%
51～60人	8	3%
61～70人	7	3%
71～80人	5	2%
81～90人	4	2%
91～100人	2	1%
未回答	24	10%

問4　団体の平均年齢

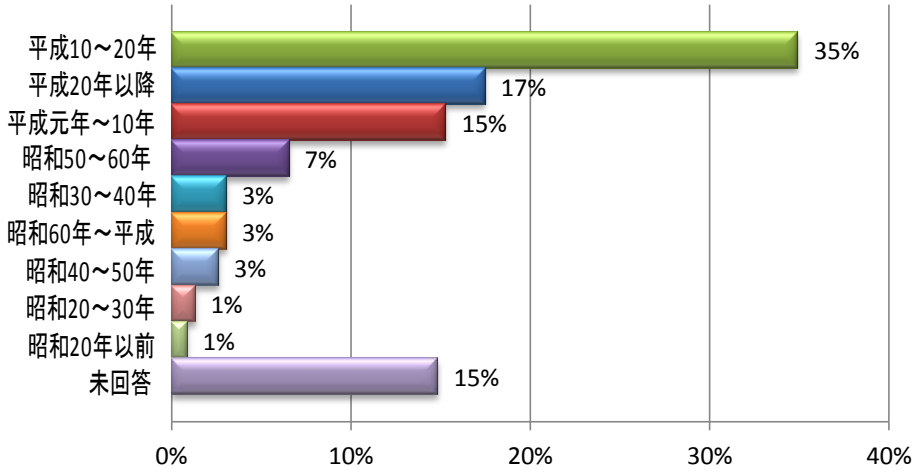
団体の平均年齢は「60歳代」が34%と最も多く、「50歳代」18%、「70歳以上」14%とつづいている。



平均年齢	回答数	割合
60歳代	78	34%
50歳代	42	18%
70歳以上	33	14%
40歳代	17	7%
30歳代	13	6%
20歳以下	6	3%
20歳代	1	0%
未回答	39	17%

問5　設立年度

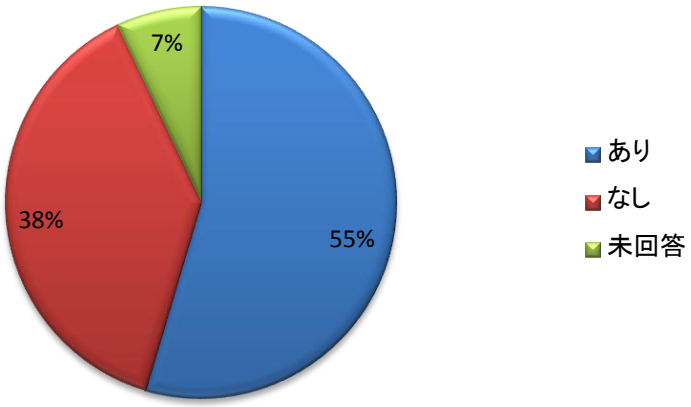
設立年度は「平成10～20年」が35%と最も多く、「平成20年以降」が17%、「平成元年～10年」が15%とつづいている。
全体の約7割が平成以降でその中でも平成10年以降に設立された団体が多い。



設立年度	回答数	割合
平成10～20年	80	35%
平成20年以降	40	17%
平成元年～10年	35	15%
昭和50～60年	15	7%
昭和30～40年	7	3%
昭和60年～平成	7	3%
昭和40～50年	6	3%
昭和20～30年	3	1%
昭和20年以前	2	1%
未回答	34	15%

問6　会費について

会費については、「あり」が55%、「なし」が33%となった。

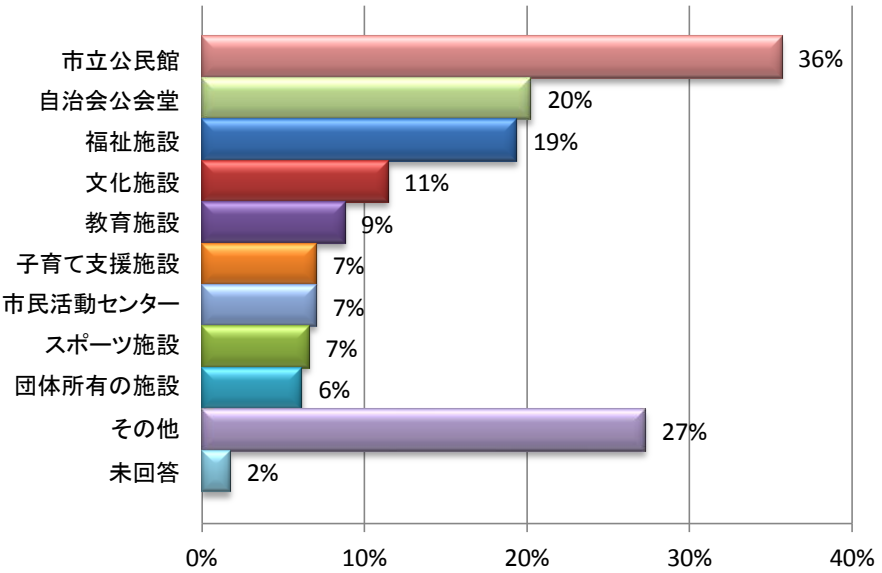


項目	回答数	割合
あり	125	55%
なし	88	38%
未回答	16	7%

2　団体の活動について

問1　主な活動場所はどこですか？（複数回答）

主な活動場所については「市立公民館」が36%と最も多く、次いで「自治会公会堂」が20%、「福祉施設」が19%となっている。「その他」（P58参照）が27%であるのは、活動を公園や道路、河川など野外で行っている団体が多い。

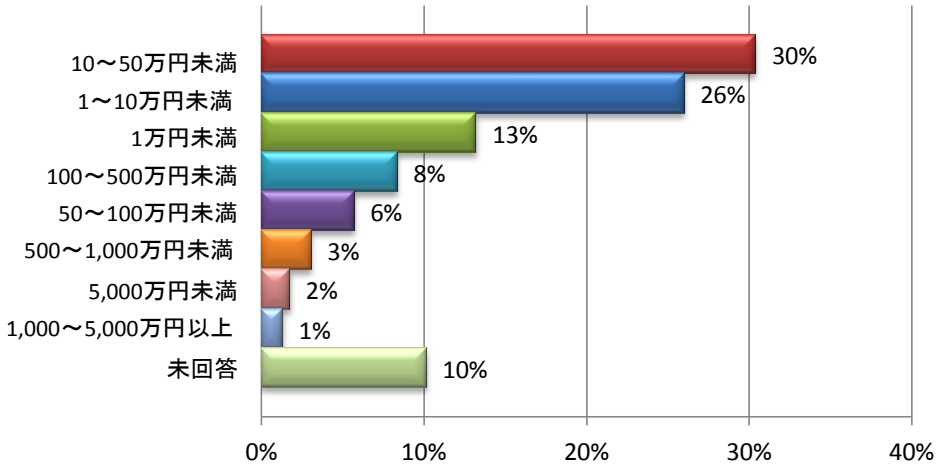


n=227

活動場所	回答数	割合
市立公民館	81	36%
自治会公会堂	46	20%
福祉施設	44	19%
教育施設	26	11%
文化施設	20	9%
子育て支援施設	16	7%
市民活動センター	16	7%
団体所有の施設	15	7%
スポーツ施設	14	6%
その他	62	27%
未回答	4	2%
全体	344	152%

問2　平成23年度年間活動規模はどのくらいでしたか？

活動規模については「10～50万円未満」が30%と最も多く、次いで「1～10万円未満」が26%「1万円未満」が13%となっている。50万円未満が約7割を占めている。



n=227

金額	回答数	割合
10～50万円未満	69	30%
1～10万円未満	59	26%
1万円未満	30	13%
100～500万円未満	19	8%
50～100万円未満	13	6%
500～1,000万円未満	7	3%
5000万円以上	4	2%
1,000～5,000万円未満	3	1%
未回答	23	10%
全体	227	100%

クロス集計　活動の種類別

活動の種類別に活動規模を調べた結果、全体的に10～50万円未満が最も高い割合を示している。

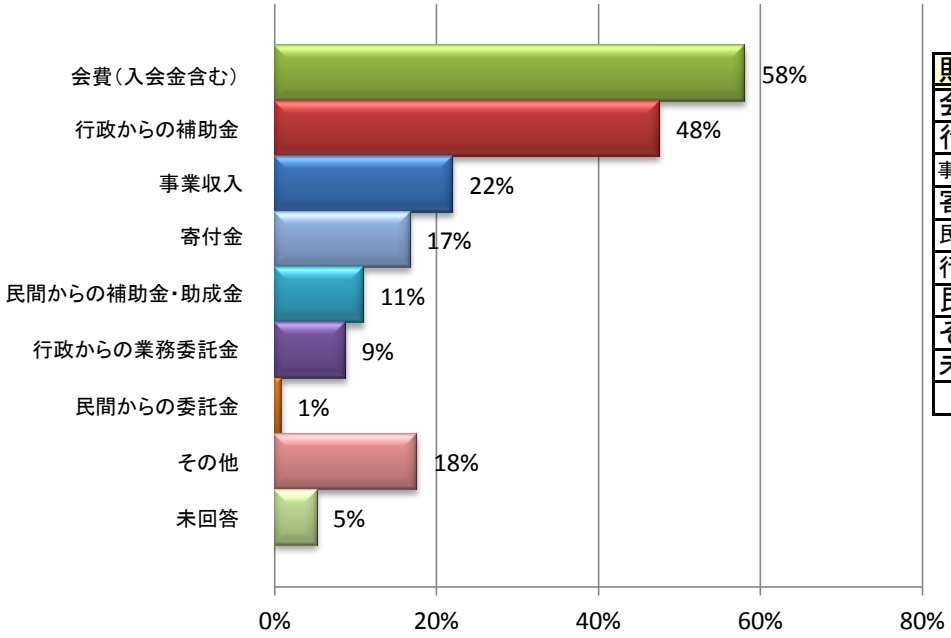
		回答数	活動の規模								
			1万円未満	1～10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	100～500万円未満	500～1000万円未満	1000～5000万円未満	5000万円以上	未回答
全体		227	31	59	69	13	19	7	3	4	24
		100%	14%	26%	30%	6%	8%	3%	1%	2%	11%
活動の種類	保健・医療・福祉	61	3	16	23	3	5	1	1	2	7
		27%	5%	26%	38%	5%	8%	2%	2%	3%	11%
	社会教育	20	4	3	3	1	4	4	1	0	0
		9%	20%	15%	15%	5%	20%	20%	5%	0%	0%
	まちづくり	60	6	12	21	4	7	3	2	1	4
		26%	10%	20%	35%	7%	12%	5%	3%	2%	7%
	観光振興	9	0	4	3	0	1	1	0	0	0
		4%	0%	44%	33%	0%	11%	11%	0%	0%	0%
	農山漁村中山間地域振興	5	0	2	2	0	1	0	0	0	0
		2%	0%	40%	40%	0%	20%	0%	0%	0%	0%
	学術、文化芸術、スポーツ	53	8	13	13	4	4	3	1	2	5
		23%	15%	25%	25%	8%	8%	6%	2%	4%	9%
	環境保全	42	6	9	12	3	8	1	0	1	2
		19%	14%	21%	29%	7%	19%	2%	0%	2%	5%
	災害救助	14	1	2	4	2	3	1	0	0	1
		6%	7%	14%	29%	14%	21%	7%	0%	0%	7%
	地域安全	33	3	6	11	3	6	2	0	0	2
		15%	9%	18%	33%	9%	18%	6%	0%	0%	6%
	人権擁護平和推進	8	0	2	1	2	2	0	0	1	0
		4%	0%	25%	13%	25%	25%	0%	0%	13%	0%
	国際協力	7	2	1	1	1	0	2	0	0	0
		3%	29%	14%	14%	14%	0%	29%	0%	0%	0%
	男女共同参画	11	2	2	5	0	0	0	0	0	2
		5%	18%	18%	45%	0%	0%	0%	0%	0%	18%
	子どもの健全育成	79	9	17	24	4	9	5	2	1	8
		35%	11%	22%	30%	5%	11%	6%	3%	1%	10%
	情報化社会発展	6	1	0	2	0	1	2	0	0	0
		3%	17%	0%	33%	0%	17%	33%	0%	0%	0%
	科学技術振興	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	経済活動活性化	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0
		1%	0%	33%	0%	0%	33%	33%	0%	0%	0%
	職業能力開発雇用機会拡充支援	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		1%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	50%	0%
	消費者保護	3	0	1	1	0	0	0	0	0	1
		1%	0%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
	NPO市民活動支援	8	2	2	2	0	1	0	0	0	1
		4%	25%	25%	25%	0%	13%	0%	0%	0%	13%
	その他	33	3	10	13	1	1	0	1	0	4
		15%	9%	30%	39%	3%	3%	0%	3%	0%	12%
	未回答	6	1	2	0	0	0	0	0	0	3
		3%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%

※活動の種類ごとに最も高い回答に網掛け表示

問3　団体の財源についてお聞きします。

（1）財源として含まれるものすべてに回答（複数回答）

団体の財源については会費収入が58%と最も多い。行政からの補助金や委託金は併せて57%、民間からの補助金、助成金、委託金は併せて１２%になっている。
また、事業収入による財源確保は22%であり寄付金も17%である。その他（P59参照）のうち13件は自治会からの補助によるところがある。それぞれの財源を組合せながら活動していることが分かる。



n=227

財源の種類	回答数	割合
会費（入会金含む）	132	58%
行政からの補助金	108	48%
事業収入（活動における収益）	50	22%
寄付金	38	17%
民間からの補助金・助成金	25	11%
行政からの業務委託金	20	9%
民間からの委託金	2	1%
その他	40	18%
未回答	12	5%
全体	427	188%

クロス集計　会費の有無別

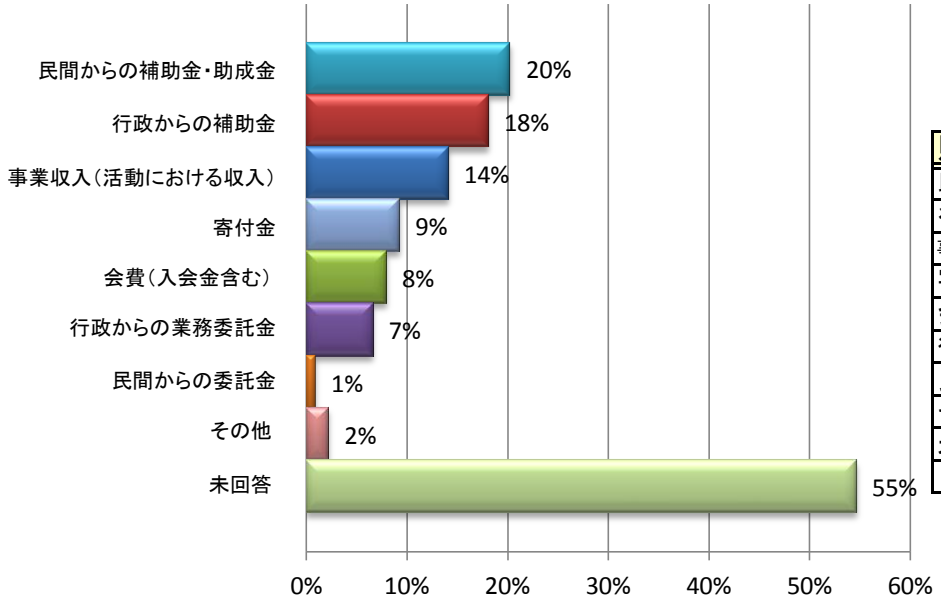
会費の有無で財源の種類を調べた結果、会費ありの団体では主な財源は「会費」であり、次いで「行政からの補助金」である。会費なしの団体では「行政からの補助金」が多い。

		回答数	財源の種類								
			会費	事業収入	行政からの補助金	行政からの業務委託金	民間からの補助金・助成金	民間からの委託金	寄付金	その他	未回答
全体		227	132	51	108	20	25	2	38	39	15
		100%	58%	22%	48%	9%	11%	1%	17%	17%	7%
会費	あり	125	116	32	57	15	21	2	24	9	3
		55%	93%	26%	46%	12%	17%	2%	19%	7%	2%
	なし	88	9	15	44	3	4	0	13	26	9
		39%	10%	17%	50%	3%	5%	0%	15%	30%	10%
	未回答	16	7	4	7	2	0	0	1	4	3
		7%	44%	25%	44%	13%	0%	0%	6%	25%	19%

※会費の有無ごとに最も高い回答に網掛け表示

（2）今後伸ばしていきたい財源がありましたら2つお書きください。（複数回答）

今後伸ばしていきたい財源については、「民間からの補助金・助成金」が20%、「行政からの補助金」が18%、「事業収入（活動における収益）」が14%とつづいており、補助金や助成金に頼りたいという意識が見られる。また未回答が約半数を占めるのは現状でほぼ満足していると考えてよいかもしれない。

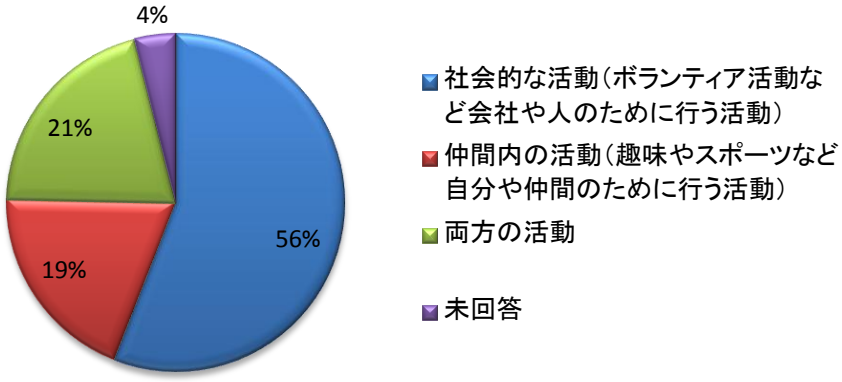


n=227

財源の種類	回答数	割合
民間からの補助金・助成金	46	20%
行政からの補助金	41	18%
事業収入（活動における収益）	32	14%
寄付金	21	9%
会費（入会金含む）	18	8%
行政からの業務委託金	15	7%
民間からの委託金	2	1%
その他	5	2%
未回答	124	55%
全体	304	134%

問4　団体の活動はどのようなタイプですか？

団体の活動については「社会的な活動（ボランティア活動など会社や人のために行う活動）」が56%と最も多く、「両方の活動」21%、「仲間内の活動（趣味やスポーツなど自分や仲間のために行う活動）」19%とつづいている。磐田市では77%が社会的な活動を行っている。



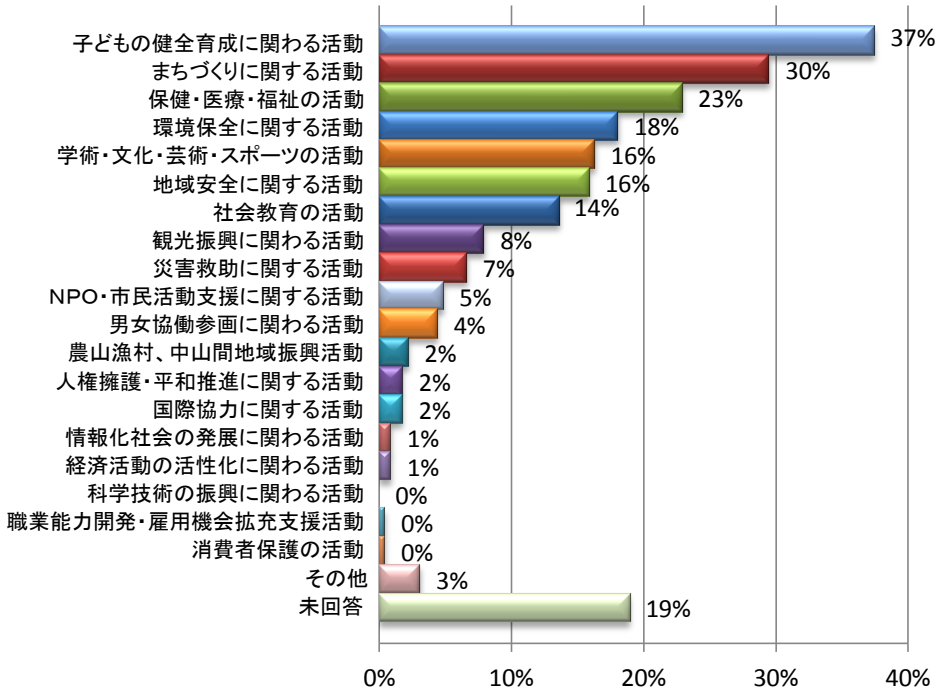
n=227

活動のタイプ	回答数	割合
社会的な活動（ボランティア活動など会社や人のために行う活動）	127	56%
仲間内の活動（趣味やスポーツなど自分や仲間のために行う活動）	44	19%
両方の活動	47	21%
未回答	9	4%
全体	227	100%

問5　今後団体で実施したい社会貢献活動がありましたら優先順位順に番号でお書きください。

（3つまで回答可）

今後、団体で実施したい社会貢献活動をお聞きしたところ、全体では「子どもの健全育成に関わる活動」が37%で最も多く、「まちづくりに関する活動」が30%、「保健・医療・福祉の活動」が23%とつづいている。
優先順位順（P55参照）では1位「保健・医療・福祉の活動」が19%、「子どもの健全育成に関わる活動」が17%、「まちづくりに関する活動」が11%。2位は「まちづくりに関する活動」が14%、「子どもの健全育成に関わる活動」が11%、「環境保全に関する活動」が7%。3位は「子どもの健全育成に関わる活動」「地域安全に関する活動」が9%、「まちづくりに関する活動」が14%、とつづいている。

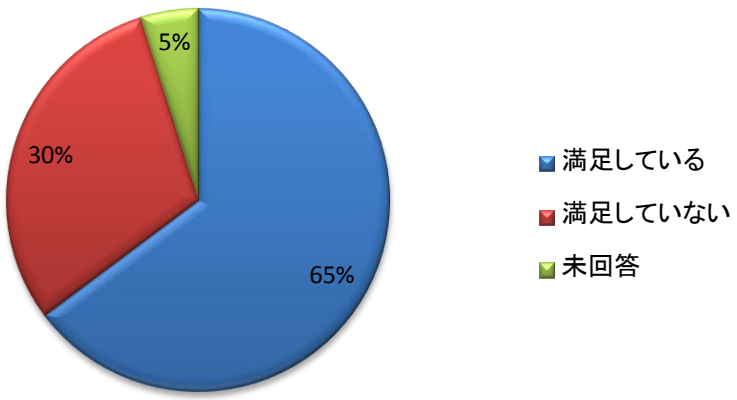


n=227

活動分野	回答数	割合
子どもの健全育成に関わる活動	85	37%
まちづくりに関する活動	67	30%
保健・医療・福祉の活動	52	23%
環境保全に関する活動	41	18%
学術・文化・芸術・スポーツの活動	37	16%
地域安全に関する活動	36	16%
社会教育の活動	31	14%
観光振興に関わる活動	18	8%
災害救助に関する活動	15	7%
NPO・市民活動支援に関する活動	11	5%
男女協働参画に関わる活動	10	4%
農山漁村、中山間地域振興活動	5	2%
人権擁護・平和推進に関する活動	4	2%
国際協力に関する活動	4	2%
情報化社会の発展に関わる活動	2	1%
経済活動の活性化に関わる活動	2	1%
科学技術の振興に関わる活動	0	0%
職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	1	0%
消費者保護の活動	1	0%
その他	7	3%
未回答	43	19%
全体	472	208%

問6　現在の活動内容に満足していますか？

現在の活動については「満足している」が65%、「満足していない」30%である。



n=227

項目	回答数	割合
満足している	147	65%
満足していない	69	30%
未回答	11	5%
全体	227	100%

問6	現在の活動内容に満足していますか。

6-1. 満足している理由

会員に関する事
クラブ員の協力意識が高い(同回答3)
ボランティア・参加者が意欲的
親睦が深まっている
会員の活動が活発
会員が増えていること、ボランティアもいる
年齢的、人員の確保
会員の出席率が良い、花にふれて楽しい
会員も、資格取得者も増えている
会員が同じ目的の為に協力できている
会員や施設に恵まれている
会員の協力度大によりボランティア活動がスムーズに進行
会員もボランティアの数も適切で活発
活動に関する事
やった後の達成感、有志の連帯感
行事が十分ある
町がきれいになっていることを実感している
利用者が多い
地区での活動が多いが、春と秋3回くらいで適正
少ない人数で実施でき、実施した事に答えが見える
他町とのふれあいができる
復元した神増坂の維持、補修ができている
活動の姿が目に見えること
充実感がある
読書を通じて他の人の意見や価値観を知ることが出来る

活動を通じて、安全、安心な地域づくりに貢献している
公民館の協力があるため、毎月の活動内容が無理なく進められる。
親子で楽しく参加できている
参加者が楽しそうにしている
仲間作りができる
指導者や会場などに比較的恵まれている
高齢者と楽しい和ができている
仕事をしながら出来る
メンバーの高齢化に伴い無理な活動をせず長く続けたい
会員が楽しかったと言ってくれたこと、ボランティアも一緒に楽しく過ごすことができる
年7回程度のイベントが出来ている
会員の趣味及び時間の範囲内での活動であり、参加先にも喜んでもらっている
町内公園の草取り清掃、落葉拾いで十分である
歴史研究、まちづくり活動に参画
マイペースで活動が出来ること
各々の担当で真剣にボランティア活動に取り組んでいる
年間を通しての活動は、概ねこなすことができている
介助しながら”老”について学ぶことができる
年齢相応の活動内容である
日本国内の同様な団体にも社会貢献活動を目指す動きがでてきている
充実した活動をしている
定期的な活動がほぼ年間通して決まっていて、活動内容としては充分である
高齢者が多いが頑張っている
ボランティア活動として無理のない活動ができている
現在のメンバーでできることをやっている
メンバーや参加者と楽しく活動している
できる事を行い、効果をあげている

自分達なりに、ハーブを楽しんでいる
相互のつながりが深くなり、よりイキイキとしている
設立したばかりの団体である。他の市民活動の方からの力や、市民活動センターの協力で良いアドバイスを頂いている。
仲間内でなんとか活動できている
各自のペースで参加出来る。子供達に喜ばれる
年間計画の実施が出来ている
出席者が多く、練習内容も充実している
年2回の発表の場が楽しみである
多くの処分寸前の犬たちが、幸せな犬生を送っている
活動にのびのび参加できる
メンバーが増えて徐々に市民にも浸透してきた
定例会で学んだことが生活に直接役立っている
ほとんどの会員が定年後の趣味として活動している
目的としている活動ができているから
まだまだ改善点や課題はあるが、毎年少しずつ前進していると感じているため
会員相互の親睦を深め、日々自主練習をし、それをボランティア活動に生かしている
みつけキッズ、ふじみキッズから離れたボランティアで運営することができた
月2、4回で無理のない範囲での活動である
月3回だが、忙しい母親業しながらも気負いなく参加できる
あまり負担に感じない活動である
会員が、いつも楽しんでくれている
主旨が見えている
toto助成金により事業活動が円滑に運営できている

周囲の意見に関する事
たくさんの施設の方々に喜んでもらっている
地域のお年寄りや子どもが喜んでくれている
相手先から御礼の手紙が届いた
小学生・中学生から感謝されていると感じる
学校など、親に喜ばれている
利用している方が大変喜んでくれる、会員同志のコミュニケーションが良い
施設の利用者さんに喜んでもらっていると感じる
利用者からのありがとうの言葉をもらう
利用者に喜ばれる。見守りを兼ねた子供、老人とのつながりが得られる
各施設で喜んでもらっている
施設の方も大変喜んで下さり、何よりもやり甲斐がある

6-2. 満足していない理由

会員に関する事
会員不足のため （同回答数　8）
会員の減少 （同回答数　4）
若年層の会員がいない （同回答数　2）
会員の高齢化 （同回答数　2）
ボランティアの後継者がいない
勉強不足である
リーダーの後継者不足 （同回答数　2）
ボランティア活動への向上心
メンバー熱意が厚く、少しやり過ぎの感がある
もう少し人を増やし、市の行事に参加したい…どんな形にするか思案中
有援者の会の加入率が低い
入隊者全員が父兄会の会員となっていない
会員及び参加者に時間的、精神的な余裕がなく活動が成り立ちにくい。
専門知識が必要な事から研修を続け活動続けるスタッフが充分ではない
会員一人一人の能力を活用しきれていない
参加できない人へのフォロー不足
活動に関する事
資金不足 （同回答数　5）
地域の協力がない （同回答数 2）
機材の不足
活動場所の不足
地域全体の活動としていまいち
自然環境を守る中で、現状維持からさらに前に進める必要有り
仕事と活動の両立が難しい

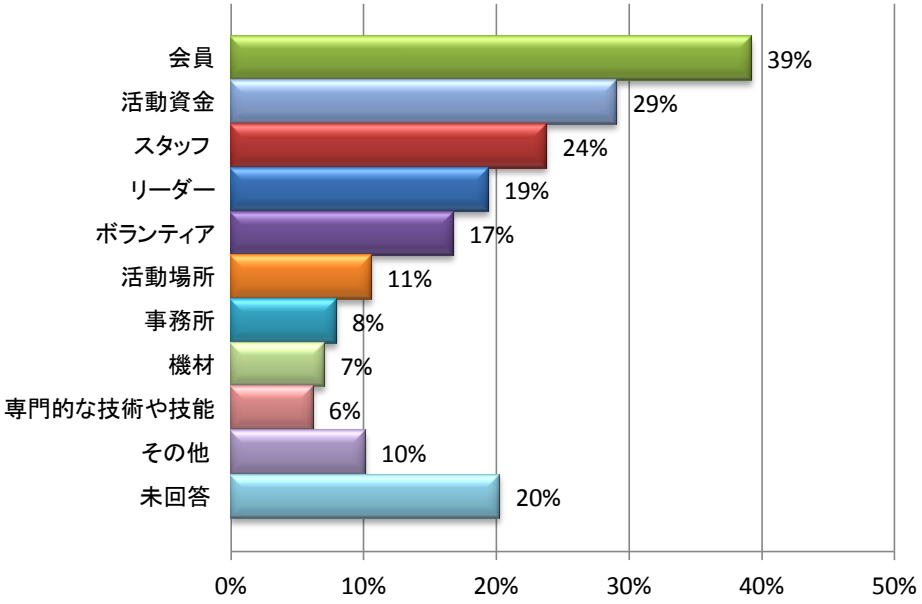
国交上の問題で民間交流に支障がでている。
美しくする会という名が災いし、環境、美化、親水への活動不足（継承する会員の不足・自由参加問題）
町をもっと盛りあげるようなイベントが欲しい
新しいアイディア、知恵を今以上に求めている
地域の多くの人々の参加を促したいと思う
活動拠点がないため、事業運営が難しく制限される
現役世代の協力がなかなか得られない
参加者が少ない、呼んでくれる団体が少ない
地域住民の高齢化が進む中、高齢者のみの世帯が増加して、要支援者が増えるため
一生懸命やっているつもりでも、社会福祉協議会の存在意義を疑問視する人も少からずいる
新しい企画、活動がされていない
おもちゃ図書館の存在が十分広がっていない
市のパソコンがあまりに古くて使えない
点訳依頼の減少
市施設を借用したい
母親達の声かけが行政に十分届いていない
サークル活動に主眼をおいている
年間を通じての事業が多く、活動範囲をなかなか広げられない
継続するも惰性気味、小中学生も含めて若者の参加がない
情報提供ができていない
専門的知識をもっている方の指導を受けながらの研究をしていきたい
活動時間に余裕がない
もう少し活動量を増やしたい
活動内容に広がりがない
常に変化と充実が求められるから
会員全体の活動になり得ていない
幅広いボランティアの支援がほしい

参加者の増大にともなり　ボランティアの負担が大きくなってしまっていること
目的や活動の認知度を上げたい
まだ発展段階なので、土台をしっかりとさせ、事業定着を図りたい
一施設では受け入れや活動に限界がある為
収入源が不安定でやりたい事業がやりにくい
会合に参加しない会員の対応が不充分

問7　現在の活動で不足しているものは何ですか？（複数回答）

優先順位の高いものを3つ選んでください。

現在の活動で不足しているものは何かお聞きしたところ「会員」が39%で最も多く、「活動資金」が29%、「スタッフ」が24%とつづいている。
上位5位に人材に関する回答が4つあり全体の約5割を占める。人材発掘・育成に関わる機会や場の提供、活動資金を得るための支援が必要である。



n=227

項目	回答数	割合
会員	89	39%
活動資金	66	29%
スタッフ	54	24%
リーダー	44	19%
ボランティア	38	17%
活動場所	24	11%
事務所	18	8%
機材	16	7%
専門的な技術や技能	14	6%
その他	23	10%
未回答	46	20%
全体	432	190%

クロス集計　現在の活動に満足しているか別

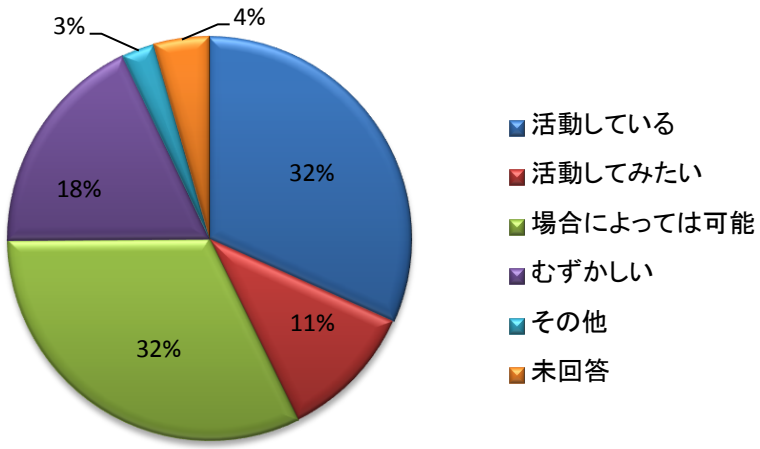
現在の活動に満足していると回答した団体でも「会員」という答えが多く、次いで「活動資金」の不足である。現在の活動に満足していない団体では「活動資金」「会員」「スタッフ」が約4割を占め、人材と資金両方が足りていないと考えられる。

		回答数	現在の活動で不足しているものは										
			会員	リーダー	スタッフ	ボランティア	事務所	活動場所	活動資金	専門的な技術や技能	機材	その他	未回答
全体		227	89	44	54	38	18	24	66	14	16	23	46
		100%	39%	19%	24%	17%	8%	11%	29%	6%	7%	10%	20%
現在の活動に満足しているか	満足している	147	54	21	25	27	11	14	33	7	9	15	35
		65%	37%	14%	17%	18%	7%	10%	22%	5%	6%	10%	24%
	満足していない	69	30	21	27	10	5	9	31	6	7	8	6
		30%	43%	30%	39%	14%	7%	13%	45%	9%	10%	12%	9%
	未回答	11	5	2	2	1	2	1	2	1	0	0	5
		5%	45%	18%	18%	9%	18%	9%	18%	9%	0%	0%	45%

※現在の活動に満足度ごとに最も高い回答に網掛け表示

問8　他団体との交流、あるいは協力して社会貢献活動することについてどう思いますか？

他団体との交流、あるいは協力して社会貢献活動することについてどう思うかお聞きしたところ、「活動している」と「場合によっては可能」がともに32%で最も多く、「むずかしい」が18%、「活動してみたい」が11%とつづいている。
全体の75%が前向きに考えている。



n=227

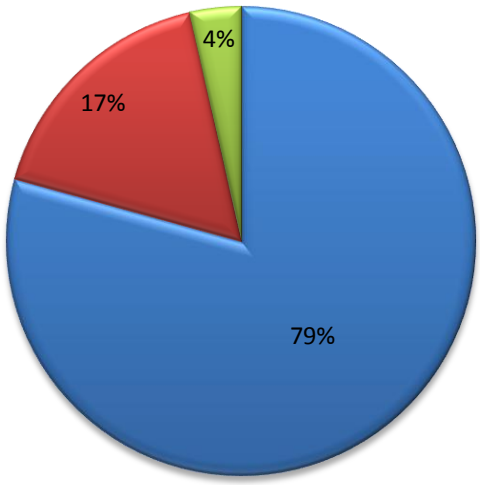
項目	回答数	割合
活動している	72	32%
活動してみたい	25	11%
場合によっては可能	73	32%
むずかしい	41	18%
その他	6	3%
未回答	10	4%
全体	227	100%

3　協働について

磐田市が推進している協働のまちづくりについて伺います。

問1　「協働」という言葉を知っていますか？

協働という言葉については、「知っている」が79%、「知らない」が17%「未回答」が4%となった。約8割が「知っている」と答え「協働」という言葉は広まってきている。

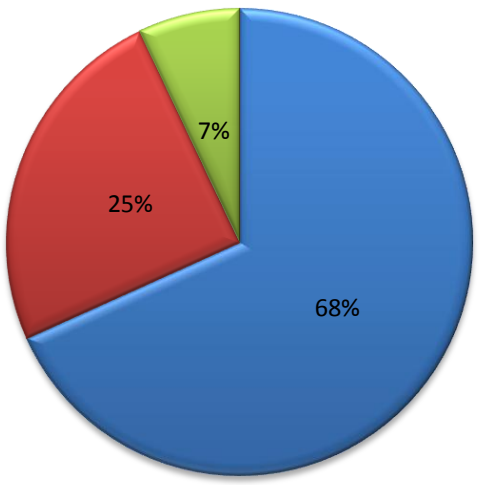


n=227

項目	回答数	割合
知っている	180	79%
知らない	39	17%
未回答	8	4%
全体	227	100%

問2　「協働」の意味を知っていますか？

協働の意味については、「知っている」が68%、「知らない」が25%、「未回答」が7%となった。
「協働」の言葉に比べ意味を知っている方は11%減ったが、「知っている」が約7割あるのは協働の意味も浸透してきている。



n=227

項目	回答数	割合
知っている	155	68%
知らない	56	25%
未回答	16	7%
全体	227	100%

クロス集計　会員数別

		回答数	協働の意味を知っているか		
			知っている	知らない	未回答
全体		227	156	56	17
		100%	69%	25%	7%
会員数	1～10人	42	24	13	5
		19%	57%	31%	12%
	11～20人	55	39	13	3
		24%	71%	24%	5%
	21～30人	31	23	7	1
		14%	74%	23%	3%
	31～40人	10	6	3	1
		4%	60%	30%	10%
	41～50人	13	10	1	2
		6%	77%	8%	15%
	51～60人	8	4	3	1
		4%	50%	38%	13%
	61～70人	7	3	4	0
		3%	43%	57%	0%
	71～80人	5	2	3	0
		2%	40%	60%	0%
	81～90人	4	3	1	0
		2%	75%	25%	0%
	91～100人	2	2	0	0
		1%	100%	0%	0%
	100人以上	28	23	3	2
		12%	82%	11%	7%
	未回答	24	17	5	2
		11%	71%	21%	8%

※会員数ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計表　平均年齢別

各年代「知っている」割合が多く、年代によるばらつきはあまり見られない。

		回答数	協働の意味を知っているか		
			知っている	知らない	未回答
全体		227	156	56	17
		100%	69%	25%	7%
平均年齢	20歳以下	6	5	1	0
		3%	83%	17%	0%
	20歳代	1	1	0	0
		0%	100%	0%	0%
	30歳代	13	7	5	1
		6%	54%	38%	8%
	40歳代	17	14	3	0
		7%	82%	18%	0%
	50歳代	42	30	10	2
		19%	71%	24%	5%
	60歳代	78	53	19	6
		34%	68%	24%	8%
	70歳以上	33	19	11	3
		15%	58%	33%	9%
	未回答	39	27	7	5
		17%	69%	18%	13%

※平均年齢ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　活動規模別

活動規模が10万円以上の団体が「知っている」割合が高い。

		回答数	協働の意味を知っているか		
			知っている	知らない	未回答
全体		227	155	56	16
		100%	68%	25%	7%
活動規模	1万円未満	30	17	12	1
		13%	57%	40%	3%
	1～10万円未満	59	37	18	4
		26%	63%	31%	7%
	10～50万円未満	69	51	14	4
		30%	74%	20%	6%
	50～100万円未満	13	9	4	0
		6%	69%	31%	0%
	100～500万円未満	19	17	1	1
		8%	89%	5%	5%
	500～1000万円未満	7	7	0	0
		3%	100%	0%	0%
	1000～5000万円未満	3	3	0	0
		1%	100%	0%	0%
	5000万円以上	4	2	0	2
		2%	50%	0%	50%
	未回答	23	12	7	4
		10%	52%	30%	17%

※活動規模ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　活動タイプ別

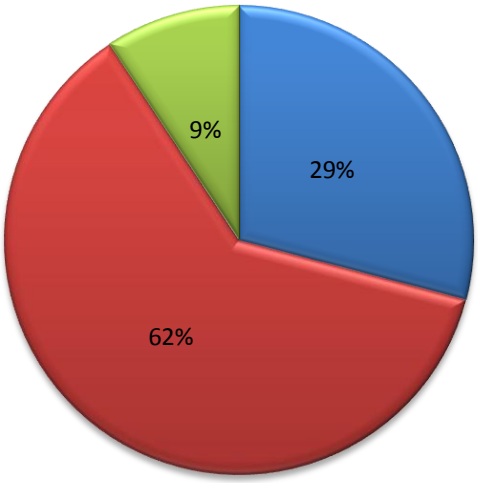
全体的に約6～7割程度協働の意味を「知っている」と答えたが、社会的な活動をしている団体の方が割合が多い。

		回答数	協働の意味を知っているか		
			知っている	知らない	未回答
全体		227	155	56	16
		100%	68%	25%	7%
活動のタイプ	社会的な活動	127	92	28	7
		56%	72%	22%	6%
	仲間内の活動	44	26	15	3
		19%	59%	34%	7%
	両方の活動	47	33	9	5
		21%	70%	19%	11%
	未回答	9	4	4	1
		4%	44%	44%	11%

※活動のタイプごとに最も高い回答に網掛け表示

問3　協働による活動や事業を実施したことがありますか？

協働による活動や事業の実施については、「ない」が62%、「ある」が29%となった協働と言う言葉も意味知っている人は約7割いるが、実際事業を実施したことのある団体は約3割程度になった。



n=227

項目	回答数	割合
ある	66	29%
ない	140	62%
未回答	21	9%
全体	227	100%

クロス集計　活動の種類別

		回答数	協働事業を実施したことがありますか		
			ある	ない	未回答
全体		227	66	140	23
		100%	29%	62%	10%
活動の種類	保健・医療・福祉	61	24	33	4
		27%	39%	54%	7%
	社会教育	20	12	7	1
		9%	60%	35%	5%
	まちづくり	60	25	30	5
		26%	42%	50%	8%
	観光振興	9	4	5	0
		4%	44%	56%	0%
	農山漁村中山間地域振興	5	4	1	0
		2%	80%	20%	0%
	学術、文化芸術、スポーツ	53	17	30	6
		23%	32%	57%	11%
	環境保全	42	20	20	2
		19%	48%	48%	5%
	災害救助	14	7	6	1
		6%	50%	43%	7%
	地域安全	33	17	14	2
		15%	52%	42%	6%
	人権擁護平和推進	8	5	3	0
		4%	63%	38%	0%
	国際協力	7	3	4	0
		3%	43%	57%	0%
	男女共同参画	11	10	1	0
		5%	91%	9%	0%
	子どもの健全育成	79	33	41	5
		35%	42%	52%	6%
	情報化社会発展	6	4	1	1
		3%	67%	17%	17%
	科学技術振興	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%
	経済活動活性化	3	3	0	0
		1%	100%	0%	0%
	職業能力開発雇用機会拡充支援	2	2	0	0
		1%	100%	0%	0%
	消費者保護	3	1	1	1
		1%	33%	33%	33%
	NPO市民活動支援	8	5	2	1
		4%	63%	25%	13%
	その他	33	4	27	2
		15%	12%	82%	6%
	未回答	6	0	4	2
		3%	0%	67%	33%

※活動の種類ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　活動規模別

活動規模が500万円以上の団体は事業を実施したことが「ある」と答えた割合が高い。

		回答数	協働による事業を実施したことがあるか		
			ある	ない	未回答
全体		227	66	140	21
		100%	29%	62%	9%
活動規模	1万円未満	30	7	18	5
		13%	23%	60%	17%
	1～10万円未満	59	12	39	8
		26%	20%	66%	14%
	10～50万円未満	69	21	47	1
		30%	30%	68%	1%
	50～100万円未満	13	5	8	0
		6%	38%	62%	0%
	100～500万円未満	19	7	11	1
		8%	37%	58%	5%
	500～1000万円未満	7	4	3	0
		3%	57%	43%	0%
	1000～5000万円未満	3	2	1	0
		1%	67%	33%	0%
	5000万円以上	4	3	0	1
		2%	75%	0%	25%
	未回答	23	5	13	5
		10%	22%	57%	22%

※活動規模ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　活動のタイプ別

社会的な活動をしている団体でも、協働による事業を実施したことのある団体は少ない。

		回答数	協働による事業を実施したことがあるか		
			ある	ない	未回答
全体		227	66	140	21
		100%	29%	62%	9%
活動のタイプ	社会的な活動	127	39	77	11
		56%	31%	61%	9%
	仲間内の活動	44	5	34	5
		19%	11%	77%	11%
	両方の活動	47	19	26	2
		21%	40%	55%	4%
	未回答	9	3	3	3
		4%	33%	33%	33%

※活動のタイプごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　現在の活動に満足しているか別

現在の活動に満足している団体も満足していない団体も、協働による事業を実施したことが「ない」が約6割と多い。

		回答数	協働による事業を実施したことがあるか		
			ある	ない	未回答
全体		227	66	140	21
		100%	29%	62%	9%
現在の活動に満足しているか	満足している	147	43	91	13
		65%	29%	62%	9%
	満足していない	69	22	41	6
		30%	32%	59%	9%
	未回答	11	1	8	2
		5%	9%	73%	18%

※現在の活動に満足しているかごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　協働の意味を知っているか別

協働の意味は知っているが、事業を実施したことが「ない」団体は約6割ある。

		回答数	協働による事業を実施したことがあるか		
			ある	ない	未回答
全体		227	66	140	21
		100%	29%	62%	9%
協働の意味を知っているか	知っている	155	60	89	6
		68%	39%	57%	4%
	知らない	56	2	47	7
		25%	4%	84%	13%
	未回答	16	4	4	8
		7%	25%	25%	50%

※協働の意味を知っているかごとに最も高い回答に網掛け表示

問3　協働による活動や事業を実施したことがありますか？

1．あると答えた人

活動・事業名	協働のパートナー
三ヶ野～桶ヶ谷	市職員と住民
大池クリーン作戦	まち美化パートナー
環境美化活動（まち美化パートナー制度）	磐田市　道路河川課
公園の草刈り	中部電力、二之宮自治会
美化運動	自治会
宿泊訓練	公民館
ダンス大会	地区ダンサー
防災訓練	行政・自治会
みんなで草刈り	地域の住民
みんなで植樹（さくら、つつじ等）	猫の手クラブ（ボラ組織）
いわたふれあい広場	磐田市社会福祉協議会
防災訓練	自治会　自治防災課
救急法講習会	保育園
いわた人形劇フェスティバル	他人形劇グループ
図書館活動	図書館
浙江省青少年民族芸術団の受入	磐田市教育委員会・小中学校
不法投棄ゴミ収集	自治会連合会
美化活動	中学校
人形フェスティバル	更生保護女性会
となりのわ	リーダー指導
自治会単位のサロンとの交流	自治会のサロンボランティア
保育園	見付地区社会福祉協議会
見付キッズ	見付地区社会福祉協議会
田原地区社会福祉協議会	ｉプラザ　磐田市

活動・事業名	協働のパートナー
明治の道を美しくする会	磐田市
大池清掃活動	国分寺まつり実行委員会
海岸の植樹等	民生委員
国分寺まつり	学校と地元有志
弱者対策	警察
子供の見守り	磐田市
防犯対策	地区社会福祉協議会
防災	磐田北小学校、富士見小学校
福祉	城山中学校PTA
あいさつ・声かけ運動	交通安全会、子ども会
今之浦川・河川美化活動	石川建設（株）
今之浦てまり会	中部地域包括支援センター
幼・小と交流	すみれ・れんげ会
老人輪投げ大会	すみれ・れんげ会
夏まつり	幼～老まで
地区内の主な活動	自治会、防犯協、青少年育成会
救護法勉強会	子ども会、老人会など
各団体との農業体験	海老塚自治会
水車再生ボランティア	幼稚園、多文化交流センター
明治の道を美しくする会	公民館、活動
手話奉仕員養成事業	磐田ろうあ協会
ふれあい祭り	磐田市文化財課
ふれあい広場参加	磐田市
常民大学合同研究会	各地の常民大学
遠州屋台まつりシンポジウム	他地域の祭団体

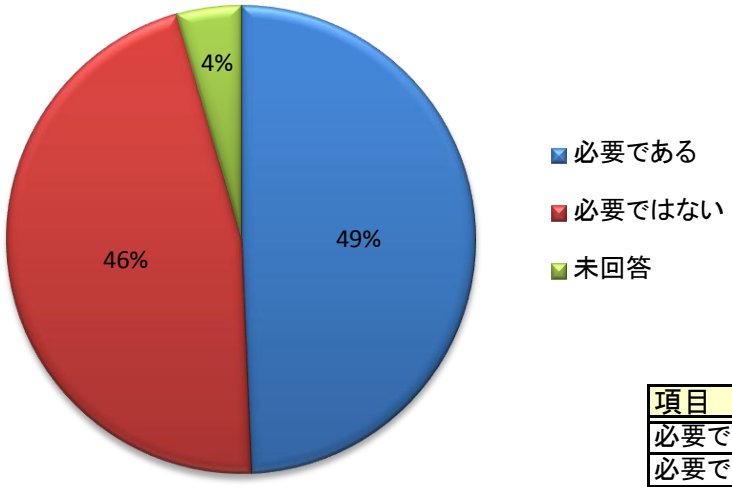
活動・事業名	協働のパートナー
外国人児童学習支援事業	教育委員会
日本語教室	市民活動推進課
外国人情報窓口	市民活動推進課
いわしんバモス日本語教室	いわしん、自治会、公民館、行政
磐田まちづくりネットワーク	磐田サポート（磐田まちづくり）
施設の草抜き	他のグラウンドゴルフ団体
子育て情報誌の発行	行政・子ども課
防犯パトロール	地区防犯まちづくり協議会（自治会）
花の会	バルブの会
子育てサロン	アイあい塾
手芸の会	ゆるり（マッサージ）
子育てサロン	こどもの森（相談にのってもらいました）
田んぼ倶楽部	磐田市
ジュビロサッカー選手の似顔絵コンクール	磐田市
いわた大祭り	実行委員会
ふれあい広場への協力	磐田市社会福祉協議会
天竜川クリーン作戦	ライオンズクラブ
チャレンジランキング	子供会豊田支部
うさぎ山を楽しもう	うさぎ山を楽しむ会
共同募金	磐田市社会福祉協議会
キラリサマーキャンプ	磐田青年会議所
ふれあい広場	磐田市ボランティア協会
冒険キッズ宝島	うさぎ山を楽しむ会
ジュビロマラソン給水所	NPO法人磐田市体育協会
遠州見付宿場まつり	宿場まつり実行委員会

活動・事業名	協働のパートナー
ブックandトーク ｉ nともりあ	ぶっく＆とーく、磐田子育てサポーター
ジュビロマラソン	磐田市、その他関係団体
磐田市スポーツフェスティバル	磐田市、その他関係団体
有害紫外線対策講座	子育て支援センター・放課後児童クラブ・静岡県
親子サバイバル防災講座	ボーイスカウト豊田第2団・災ボラチーム豊田
わんぱく相撲	磐田市相撲連盟
いわたゆきまつり	磐田市、その他関係団体
まちづくり	磐田市・共生社会
青城小の授業に参加	総合学習に協力
人形劇フェスティバル ｉ nいわたへの参加	市民劇団オンリーワン
DVへの気づき	Sarety　First静岡
中学生に伝える男女共同参画	ファミリーテーターズ静岡
多世代交流型	Swosの会
子育て支援事業	磐田市社会福祉協議会　豊田支所
遠州大名行列・舞事	磐田市、企業、自治会
親子・地区料理教室	託児ボランティアの会
太田川ネットワーク	袋井土木事務所
プールでヤゴ救出大作戦	小学校
脳いきいき講座	市・ライフサポートセンター
お元気出前講座	磐田市
24年、協働のまちづくり提案事業	磐田市　農林水産課
協働のまちづくり提案事業	磐田市
喫茶ペンギンにおける委託販売	磐田市内外の福祉施設
健康づくり事業	磐田市
女子サッカー普及事業	磐田市

活動・事業名	協働のパートナー
芝生化事業	磐田市
スポーツ推進月間イベント協力	静岡県スポーツ振興課
ジュビロ磐田メモリアルマラソン	行政他、多数企業、団体

問4　他者との協働が必要であると思いますか？

他者との協働については、「必要である」が49%、「必要ではない」が46%となり、「必要である」「必要ではない」共に約5割という結果になった。

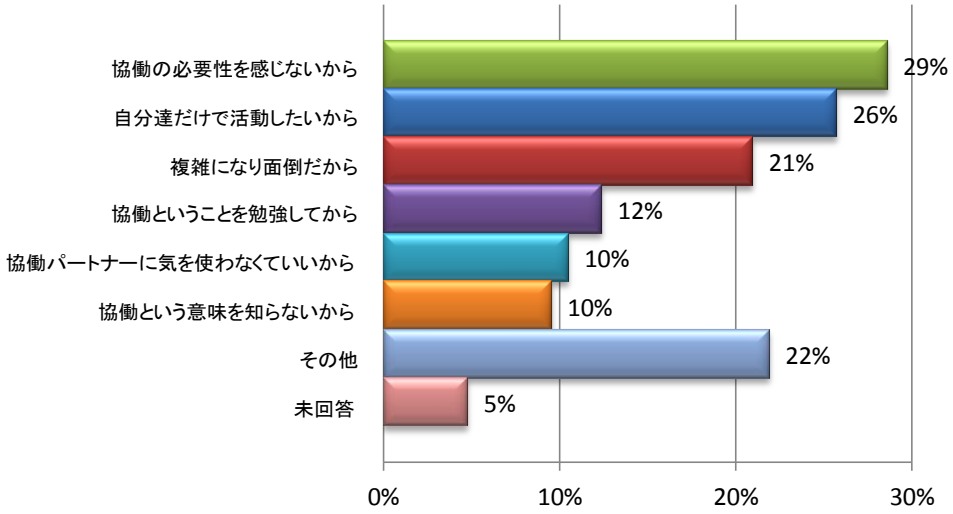


n=227

項目	回答数	割合
必要である	112	49%
必要ではない	105	46%
未回答	10	4%
全体	227	100%

問4で必要ではないと答えた人の理由（複数回答可）

問4で協働は必要ではないと回答した団体の理由は、「協働の必要性を感じないから」が29%と最も多く「自分達だけで活動したいから」が26%、「その他」「複雑になり面倒だから」が22%とつづいている。その他の理由としては「時間がない」「自分たちの活動を安定・充実させてから」など。
必要ではないと答えた人には、事例集や手引などをとおして協働の手法やメリットを伝えていく工夫が必要である。



n=105

項目	回答数	割合
協働の必要性を感じないから	30	29%
自分達だけで活動したいから	27	26%
複雑になり面倒だから	22	21%
協働ということを勉強してから	13	12%
協働パートナーに気を使わなくていいから	11	10%
協働という意味を知らないから	10	10%
その他	23	22%
未回答	5	5%
全体	141	134%

クロス集計　活動規模別

団体規模が10万円未満では協働は「必要でない」と回答した団体が多いが、50万円以上になると協働は「必要である」と回答した団体が多い。活動規模が大きい団体の方が協働の必要性を感じていると言える。

		回答数	他者との協働が必要だと思いますか		
			必要である	必要ではない	未回答
全体		227	112	105	10
		100%	49%	46%	4%
活動規模	1万円未満	30	11	17	2
		13%	37%	57%	7%
	1～10万円未満	59	24	32	3
		26%	41%	54%	5%
	10～50万円未満	69	35	32	2
		30%	51%	46%	3%
	50～100万円未満	13	10	3	0
		6%	77%	23%	0%
	100～500万円未満	19	12	6	1
		8%	63%	32%	5%
	500～1000万円未満	7	6	1	0
		3%	86%	14%	0%
	1000～5000万円未満	3	2	1	0
		1%	67%	33%	0%
	5000万円以上	4	4	0	0
		2%	100%	0%	0%
	未回答	23	8	13	2
		10%	35%	57%	9%

※活動規模ごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　活動のタイプ別

社会的な活動と両方の活動の団体は「必要である」と回答した団体が多いのに対して、仲間内の活動の団体は「必要ではない」と回答した団体が多い。

		回答数	他者との協働が必要だと思いますか		
			必要である	必要ではない	未回答
全体		227	112	105	10
		100%	49%	46%	4%
活動のタイプ	社会的な活動	127	68	55	4
		56%	54%	43%	3%
	仲間内の活動	44	14	26	4
		19%	32%	59%	9%
	両方の活動	47	27	20	0
		21%	57%	43%	0%
	未回答	9	3	4	2
		4%	33%	44%	22%

※活動のタイプごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　現在の活動に満足しているか別

現在の活動に満足していない団体の方が他者との協働が必要だと思っている。

		回答数	他者との協働が必要だと思いますか		
			必要である	必要ではない	未回答
全体		227	112	105	10
		100%	49%	46%	4%
現在の活動に満足しているか	満足している	147	61	81	5
		65%	41%	55%	3%
	満足していない	69	45	21	3
		30%	65%	30%	4%
	未回答	11	6	3	2
		5%	55%	27%	18%

※現在の活動に満足しているかごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　協働の意味を知っているか別

協働の意味を知っている約6割の団体が協働は必要だと思っている。

		回答数	他者との協働が必要だと思いますか		
			必要である	必要ではない	未回答
全体		227	112	105	10
		100%	49%	46%	4%
協働の意味を知っているか	知っている	155	90	63	2
		68%	58%	41%	1%
	知らない	56	12	40	4
		25%	21%	71%	7%
	未回答	16	10	2	4
		7%	63%	13%	25%

※協働の意味を知っているかごとに最も高い回答に網掛け表示

クロス集計　協働事業を実施したことがあるか別

協働事業を実施したことのある団体の約8.5割は、他社との協働は必要だと思っている。

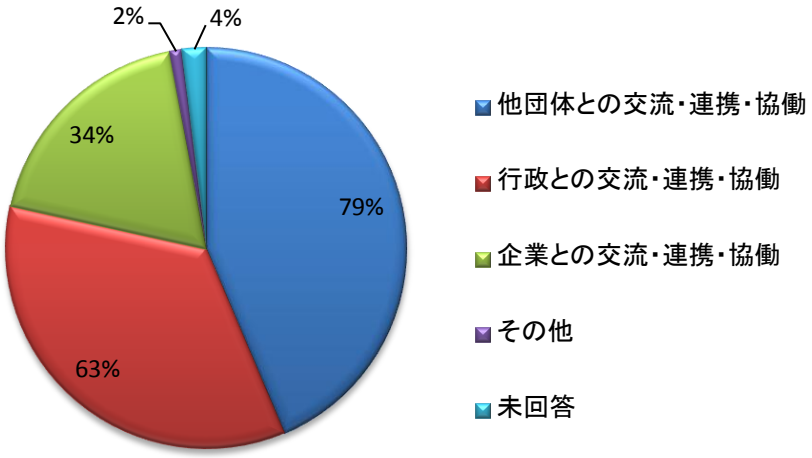
		回答数	他者との協働が必要だと思いますか		
			必要である	必要ではない	未回答
全体		227	112	105	10
		100%	49%	46%	4%
協働事業を実施したことがあるか	ある	66	57	9	0
		29%	86%	14%	0%
	ない	140	49	87	4
		62%	35%	62%	3%
	未回答	21	6	9	6
		9%	29%	43%	29%

※協働事業を実施したことがあるかごとに最も高い回答に網掛け表示

問5　貴団体にとって必要なものは何ですか？（複数回答）

問4で他者との協働が必要であると答えた団体のみ

問4で他者との協働が必要であると答えた団体にとって必要なものについては、「他団体との交流・連携・協働」が79%と最も多く「行政との交流・連携・協働」が63%、「企業との交流・連携・協働」が34%とつづいている。



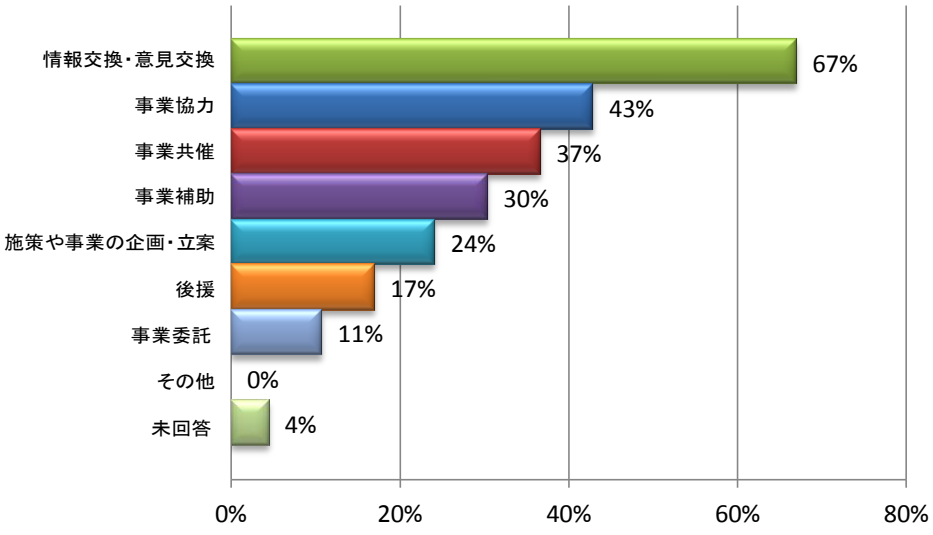
n=112

項目	回答数	割合
他団体との交流・連携・協働	89	79%
行政との交流・連携・協働	71	63%
企業との交流・連携・協働	38	34%
その他	2	2%
未回答	4	4%
全体	204	182%

問6　貴団体は、どのような協働の方法を望みますか？（複数回答）

問4で他者との協働が必要であると答えた団体のみ

問4で他者との協働が必要であると答えた団体に協働の方法について聞いたところ、「情報交換・意見交換」が67%と最も多く、「事業協力」が43%、「事業共催」が37%とつづいている。
情報提供や意見交換の場の提供方法に工夫が必要である。



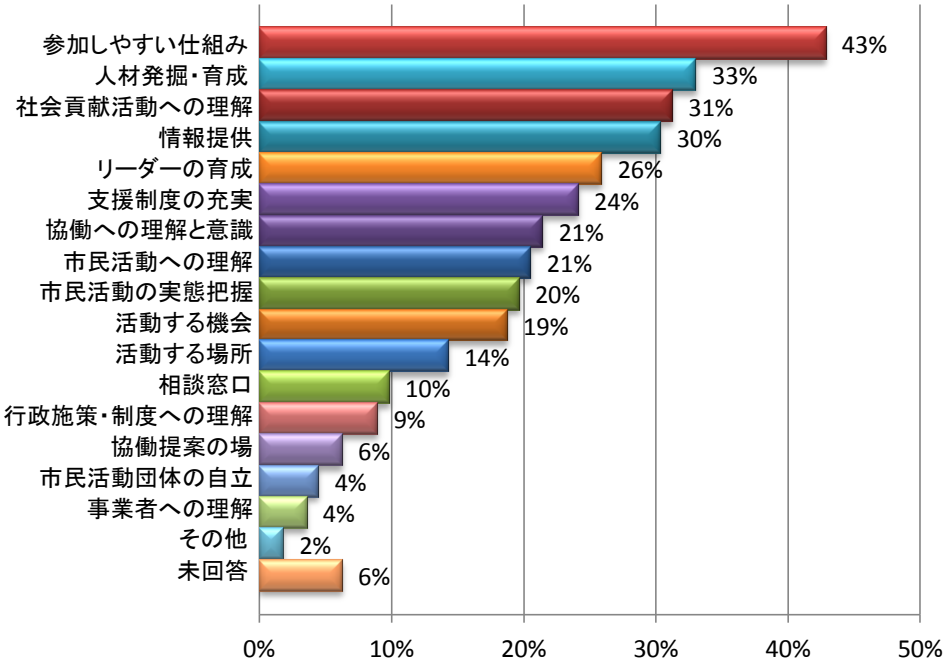
n=112

項目	回答数	割合
情報交換・意見交換	75	67%
事業協力	48	43%
事業共催	41	37%
事業補助	34	30%
施策や事業の企画・立案	27	24%
後援	19	17%
事業委託	12	11%
その他	0	0%
未回答	5	4%
全体	261	233%

問7　今後、貴団体にとって協働のまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要であると思いますか？

問4で他者との協働が必要であると答えた団体のみ（複数回答）

問4で他者との協働が必要であると答えた団体にどのようなことが必要であるかについては、「参加しやすいしくみ」が43%と最も多く「人材発掘・育成」が33%、「社会貢献活動への理解」31%とつづいている。
参加しやすい仕組みづくりをめざして市民意識の醸成と人材発掘・人材育成が必要である。



n=112

項目	回答数	割合
参加しやすい仕組み	48	43%
人材発掘・育成	37	33%
社会貢献活動への理解	35	31%
情報提供	34	30%
リーダーの育成	29	26%
支援制度の充実	27	24%
協働への理解と意識	24	21%
市民活動への理解	23	21%
市民活動の実態把握	22	20%
活動する機会	21	19%
活動する場所	16	14%
相談窓口	11	10%
行政施策・制度への理解	10	9%
協働提案の場	7	6%
市民活動団体の自立	5	4%
事業者への理解	4	4%
その他	2	2%
未回答	7	6%
全体	362	323%

問8	貴団体が捉える地域社会の困りごとやあったらいいなと思われるサービスがありましたら、お書きください。

（1）地域社会の困りごとなど

高齢化が進み、買い物に困る人が出てくること（同回答2）
高齢者福祉
高齢化になっている、後継者のいない家がある
高齢化社会における、農地保全の問題等
高齢者の足になる交通手段
高齢者のみの世帯の見守りや支援の体制づくり
高齢化により、「ふれあいサロンへ出向くための足がない」という言葉をよく聞く。運転ボランティアさんの支援を望む。
遠方から参加する人はボランティアの車で送迎している（ボランティアも高齢である）
家庭で孤独になった母親の支援
ひきこもりがちの高齢者に対する、有効なアプローチ方法
山間地に居住する高齢者の交通の便がないこと
障害に対する理解が薄い
公園で猫を飼っている人がいてトラブルになる
「田原水車の里」のライトアップ
ゴミのポイ捨て。地域住民の地域を自ら守ろうとする意識の高まりがもっとあるとよい
マルカワギョウザ屋さんの北側にある。竹林は、地主さん（6人）との協力で結果的に伐採したが、その後の維持が地主さん（浜松市在住）が積極的でなく、我々が声をかけないと、積極的に手入れ整備しない。放っておくも又、元の荒廃竹林に戻ってしまう恐れがある。
毎年4月の始めに田川沢の魚が姿を消すこと、当然ほたるの幼虫カワニナにも悪影響。原因は思い当たる事があるが現場を見ていないので。
青少年健全育成の立場からもカーホテルの撤退、不健全！ごみ処理に従事しない。（同回答2）
青少年の健全育成に対する保護者の意識がとても低いと思う。親が多忙になるからとボーイスカウト活動への参加が減少している
他地域より転居してきた親子が、知り合う機会がなく、子育てが孤立しがち。未就園児を安全に遊ばせるスペースが不足しており、生活がマンネリ化する。
長期休みのときの子供（小学生）の居場所作りは、どの家庭でも困っている
若者が元気に地域社会（自治会）活動に参加できる環境づくり
役員（特に会長）になる人がいない

ボランティアの人材確保、地域住民と交流のない人への関わり
地域の連帯感が年毎に薄まっている
地域社会のために働こうとする方が極めて少ない（ボランティアをしない）
公共施設を借りる料金が高くて困る
公民館の利用日（営業する曜日）が極端に少なくなりたいへん困っている（長野公民館）
公共図書館の児童サービスの低下。（専任の〈司書〉の職員が年々減っているように思います）
火気を使用した訓練の場がうさぎ山公園しかない事。炊事訓練が不自由な状況にある。
地震で建物が壊れた時の避難所が非常に少ないこと
現状全てチャレンジです。困ったこともチャンスに変える勇気だと考えて取り組んでいる
放棄農地…作物が育ちにくい（農業は儲からない）、土壌改良が必要…改良しないと機械化が出来ない
みどりの多い街づくりに県の支援はあるが、磐田市は不足している
活動への理解と協力
市の相談窓口の対応が、平日の17:00頃に終わってしまうところが多いこと。（仕事を休む必要があったり、思いついた時にすぐ、相談できなかったりだと、問題を放置してしまうことになりかねないので。）
現在日本中のボランティアが多くの保護犬をかかえている経済状況です。畜犬登録もせず、正しい命の扱いも未熟である今の人間社会の教育を行政等が、指導したり、ブリーダーの管理等を私達も協力して行きたい。
まだまだ無関心な方も多いので、少しでもご理解頂き、協力して頂ければと思っています。（少しずつご理解頂けている）
サロン開催にあたり、公民館などに駐車スペースが少なく、臨時にⓅの提供場所があればと思います。雨の時、親子で車で来る方もあるので。
スポーツ文化が根づいていないこと
専用の受入れ窓口
活動場所への送迎

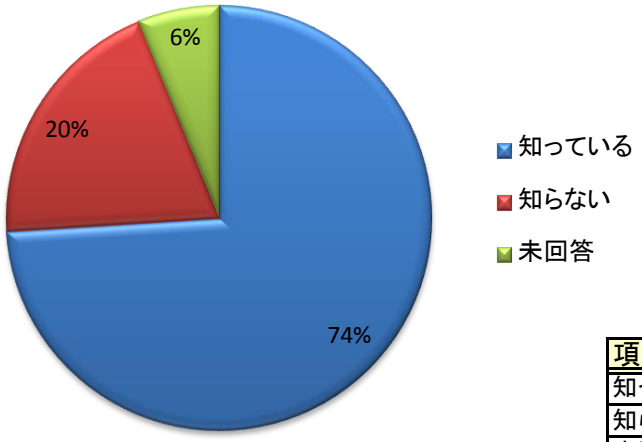
（2）暮らしやすくなるサービスなど

みんなでやる除草作業・環境整備活動などで磐田市の環境衛生課のごみ対策室にお願いすると素早い対応でサービスに努めてくれています。とても感謝しています。”すぐやる課”のような気持ちよい応対です。ありがとうございます。道路河川課にもいつもお世話になっています。
磐田市社会福祉協議会のマイクロバスの利用するのに手続きが繁雑である
介護施設の拡充と料金を下げて頂きたい
近くの商店が閉じていくので、買物に困っている方がいらっしゃいます。弱者を助ける方法を研究していますので、よい考えをお教えください
今ある公園や豊岡センター等の管理をしてほしい、置きざらしになっていて、廃墟の様でみぐるしい、きれいなまちづくりを
高齢者世帯への買物支援（同回答3）
足の便のない高齢者の対策
徒歩で行ける商店が少ない
専用の受入れ窓口
手話通訳者の行政機関への設置
山間地の自宅付近まで、福祉バス、コミュニティーバスを運行して欲しい
地域社会づくりへの貢献
各地区にある公民館で開放して勉強会などができたらいいと思います（見守りの方を保護者以外にも地区の年配の方も参加してもらったり…）
磐田市のなかに、短期入所施設がほしい
各種、相談窓口の時間延長を…できれば24時間対応に…（相談窓口の内容にもよりますが）各種相談窓口の一覧表の配布。（市内の広報に載っていますが、それ以外も含めた総合的なもの）
市民活動センターも必要ですが、やはり地域に拠点がほしい。（子どもも、高齢者の方も利用しやすいし活動への理解も深まるため）
未就園児を育てる親子への支援施設、団体の充実とスムーズな情報の共有。金銭的な補助。
活動の中心となるスタッフ
体育施設の利用時間延長
コミニュケーション力向上トレーニングの機会

4 市民活動センターについて

問1 磐田市市民活動センターを知っていますか？

磐田市市民活動センターを知っていますか？とお聞きしたところ、「知っている」が74%、「知らない」20%、「未回答」6%となった。平成20年度、旧交流センター時の調査では58%であった。豊田支所内への移転に伴い名称変更、愛称の採用、設置条例等の整備により浸透してきている。

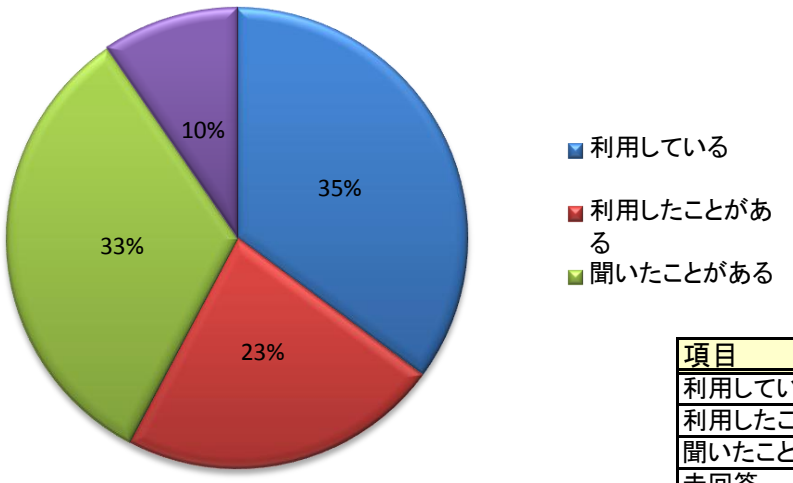


n=227

項目	回答数	割合
知っている	168	74%
知らない	45	20%
未回答	14	6%
全体	227	100%

問1で市民活動センターを知っていると答えた人の理由

問1で市民活動センターを知っていると答えた方に、知っている理由をお聞きしたところ「利用している」が35%、「聞いたことがある」33%、「利用したことがある」23%となった。約6割の方が実際センターを利用したことがあると答えた。



n=168

項目	回答数	割合
利用している	59	35%
利用したことがある	38	23%
聞いたことがある	55	33%
未回答	16	10%
全体	168	100%

問2	市民活動を推進するために、市民活動センター及び行政に求めることはありますか？

（1）市民活動センターに求めること

回覧など活動資料のコピー、印刷に対する便宜
機能として良いと思うが一般の人々が任意に活用とか相談とかには一歩引く雰囲気。もっと気楽に使える様なPRと環境作りが有効と思う。
広報等を通じて市民活動センターの存在をアピールしたら良いと思う
情報発信をより多くしてもらいたい
活動を推進する為には、ボランティアの支援が必要となりますが、ボランティアの養成その環境作りをしてほしい。
市内の外れの方では利用しにくい
活動内容に以下はないと思うので、すべての市民活動を平等にあつかうこと
親子ふれあい遊び（パネルシアター、エプロンシアターなどを含む）をする指導者の派遣
「ともりあ」のPRについては知っていますが、少し遠いところがという思いでなかなか行動できません。私が知らないのかも知れませんが、もう少しPRをしたらと思います。
深く掘り下げる努力と人材開拓、広く求める
市民活動センターの理想的な利用方法を教えて欲しい。有効利用のご指導をお願い致します
高齢化社会にどう取り組むかを考えないといけない
通路ではなく、ゆったりと会話できるコーナーに面して受付があるといいと思う
イベントなどで必要となるツールなど借用できるものがあるか、または、どういった施設などで借りることができるか、などの情報があるとよい。
当会はボラ協に加盟しているが、出来るだけ1つ上位組織から情報を貰えると有難い、いろんな複数部署から問い合わせや報告等重複は避けたい
さらなる広報活動にウエイトをおいて市民の利用頻度を高めて頂きたい
どのような施設、事業内容かが勉強不足の為、よく知りませんでした。PRが必要なのでは…と思いました。（まだ、身近に感じられる施設ではないような…）特に北部地域、地元中心に活動している為でしょうか。
限られた、決まった人しか利用してないのでは？
福祉一般情報
プロジェクターのパソコンにつなげる音声の機材を早く購入して欲しい。（マイクをあてて音声を出しているのでとても聞きづらいです。
市中心部にあると便利であります

他の団体はどんな団体があるか知りたいし、登録をしていない個人的に活動している方も情報を知りたいと思っていると思う。
情報提供、情報交換、団体紹介の場としての利用
参加しやすい雰囲気があること
市民活動団体－市民－事業者－行政の協働の橋渡しを積極的に行ってほしい
団体活動の理解
市民活動グループ間の理解を深める機会を増やしてほしい。
PR不足で活動がまだ広く一般に浸透していない様に感じる
今のままでOKです。セミナー案内の告知が出来ないでしょうか。
日、祝、夜間の利用ができないこと、福田から豊田はちょっと距離がある
情報発信や印刷作業、機能など今まで通りサポートして頂ければありがたいです。
団体間の連携、協力の組み立て方法
意外と皆さんに知られていないのでは、と思います。年に何回か活動状況等、広報に出してもいいのでは、と思います。
情報の積極的な発信
印刷やプロジェクターなど借用しています。非常に助かります。今後もお願いします。
NPOのレベルアップ指導（励まし、相談）
中間支援をやって欲しい。実例など分かりやすく掲示したりセンターでしかやれない事も、もっとたくさんあると思います。よく考えて下さい。

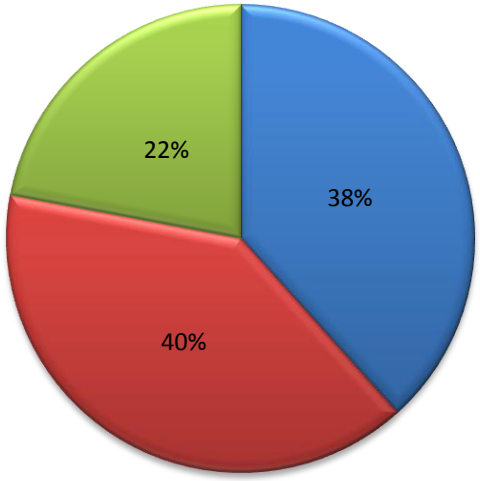
（2）行政に求めること

例えば、物作りをしたくても場所がなく困ることがある、小さな作業場が有ると良い、無料で借りられる場所が有れば良いと思う。
現在、活動に必要な機材類やお茶などは自治会で負担してもらっているが、行政でも少し補助してもらえると有難い。
以前に比べて活動的、前向き行動が感じられるので今のまま進めてもらえればいいです。
竹の粉砕機を活動団体に無償で貸してほしい
今後も引続きご理解とご協力をお願いしたい
旧豊岡の頃は、行政側が活動の際、現場を訪れ、生の意見交換をしつつサポート体制の充実が図られていたが、合併後は、そのようなことは全くなくなり広報に載るでもなく、行政とのつながりが稀薄になった。
補助金が一定期間が経過すると打ち切りとなるが、継続的に出来るように検討して頂きたい。（税制面を考えると難しい面も理解出来ますが…）
活動の中味を十分に吟味し、それに見合った的確な補助金
活動を推進する為には、ボランティアの支援が必要となりますが、ボランティアの養成その環境作りをしてほしい。
人事移動にともなう、職員の市民活動の理解を早急に学習させること、上からの目線を極力を押さえること
支部に依る活動場所廃止の為活動場所が無くなり行政として何かの方法を考えてほしい
会員人数30名の為、屋外研修行事に市バスをお願いしたいと思います。マイクロバス2台では不便に感じる
八方美人的になるな、真に市民が求める事への追求
将来的にどんな事が出来、メリットは、何が出来、それが市民の活動に有効か？
活動への補助を継続してほしい（財源）
高齢化社会にどう取り組むかを考えないといけない
補助金の増額
活動を理解し、受入れること。
行政にと言えるかどうかわかりませんが、福祉施設に働く人の待遇をよくしてもらいたい。みんな一生懸命働いています。それに見合った待遇がなされていないように思われます。せめて世間なみの給料を…という感じです。職員がそんなこと口に出してはいませんがね。
出来る限りハードルを低くして参画しやすいような工夫がほしい
市民活動団体を行政の使いたいように使うという考えではなく、共に目標、効果をきちんと見据えた上で対等な立場での事業推進を考えて行きましょう
市民が社会的に「良い」ことをしているとき　それを認め後押しして下さい。少なくとも邪魔をしないで下さい。

若い方のボランティアを集めてほしい
磐田市広報にとりあげてもらえるとありがたい
高齢化に対する施策　現状と今後の対応
補助金の継続（同回答3）
夜間も人を配置できるだけの補助があってもいいのでは
市民の意識改革
縦割り行政なので、1つの課へ相談に行っても知りたい事がすべてそろわない
花壇の草刈りした後のゴミ処理（役員の一部の人が自分の家の近くの収集場所で処理している為、活動場所で何とかならないものか）
「協働」の言葉だけを一人歩きさせるだけで、協働で何を具体的に目指すかを明確にしていない。又は、分かっていない。
ボーイスカウト活動の啓発にさらに協力していただきたい
活動内容の理解と育成、経済支援
市民活動の場に行政の方もぜひ、参加してほしい。共通の認識を持つことができれば、お互いの理解を深めることができると思います。
イベントや講座等のチラシ・ポスターを子育て支援センターなど子育て関係機関に置けるようにしてほしいです。参加費があるものは断られますが、講師料や機材費などの経費がかかるので無料ではできないことを理解してほしいです。
もっと市民活動の中に入って一緒に活動して感じてほしい
庁内の連携
自分達の住む地域にもっと愛着を持って頂き、安全でいろんな環境も整い楽しく住みやすい地域にしていくために、地域コミュニティーは大切なんだという事を住民にも理解し、自分のできる事を協力して頂けるよう行政からも大切さをはたらきかけてほしい。
財政が苦しいこともあろうかと思いますが、現在いろいろな場で活動しているボランティアに対し、無料奉仕でやっています。中には家庭を犠牲にして真面目に参加している人も数多いので、そんな方々に薄謝礼をあげてもらえたら、一層の励みになるのではないでしょうか。
補助金の充実。家にこもりがちな1人目のお母さんへの情報提供
活動団体の情報交換の場がやや少ないように思います。こちらも確実に参加できるわけではないので申し訳ないのですが、今後増えることを期待します。
行政能力の向上①企画政策面の向上②実務能力の向上
各団体の調査ばかりでなく、情報を広く出して広報して欲しい。

問3　市民活動センターでは、会員の皆さんへのお得な情報や講座のご案内、市民活動を応援するために印刷機・ミーティングスペースを用意しています。

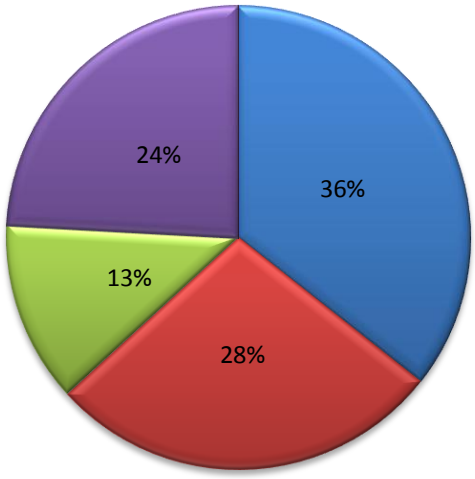
（1）市民活動センターに会員登録をしますか？（登録無料）



n=227

項目	回答数	割合
登録する	87	38%
登録しない	90	40%
未回答	50	22%
全体	227	100%

問3（1）で登録すると答えて、お知らせを希望する人（方法）



n=87

項目	回答数	割合
Eメール	31	36%
FAX	24	28%
郵送	11	13%
未回答	21	24%
全体	87	100%

Ⅳ　質問と回答（単純集計表）

１　基本情報

２　貴団体の活動について

３　協働について

４　磐田市市民活動センターについて

平成24年度　ふじのくにNPO活動基金「新しい公共の場づくりモデル事業」

市民活動団体調査　アンケート集計結果

1　基本情報

活動の種類(複数回答)

活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合
保健・医療・福祉の活動	61	27%	社会教育の活動	20	9%	まちづくりに関する活動	60	26%
観光振興に関わる活動	9	4%	農山漁村、中山間地域振興活動	5	2%	学術・文化・芸術・スポーツの活動	53	23%
環境保全に関する活動	42	18%	災害救助に関する活動	14	6%	地域安全に関する活動	33	14%
人権擁護・平和推進に関する活動	8	3%	国際協力に関する活動	7	3%	男女協働参画に関わる活動	11	5%
子どもの健全育成に関わる活動	79	34%	情報化社会の発展に関わる活動	6	3%	科学技術の振興に関わる活動	0	0%
経済活動の活性化に関わる活動	3	1%	職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	2	1%	消費者保護の活動	3	1%
NPO・市民活動支援に関する活動	8	3%	その他	33	14%	未回答	6	3%

主な活動範囲(複数回答)

活動の範囲	回答数	割合	活動の範囲	回答数	割合	活動の範囲	回答数	割合
見付	25	11%	中泉	15	7%	今之浦	3	1%
岩田、大藤、向笠	15	7%	西貝、御厨、南御厨、田原	23	10%	天竜、長野、於保	14	6%
福田	11	5%	竜洋	10	4%	豊田	25	11%
豊岡	16	7%	磐田市全域	76	33%	静岡県西部	23	10%
静岡県内	19	8%	その他	15	7%	未回答	4	2%

会員数

会員数	回答数	割合	会員数	回答数	割合	会員数	回答数	割合
1～10人	42	18%	11～20人	55	24%	21～30人	31	14%
31～40人	10	4%	41～50人	13	6%	51～60人	8	3%
61～70人	7	3%	71～80人	5	2%	81～90人	4	2%
91～100人	2	1%	100人以上	28	12%	未回答	24	10%

平均年齢

平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合
20歳以下	6	3%	20歳代	1	0%	30歳代	13	6%
40歳代	17	7%	50歳代	42	18%	60歳代	78	34%
70歳以上	33	14%	未回答	39	17%			

設立年度

設立年度	回答数	割合	設立年度	回答数	割合	設立年度	回答数	割合
昭和20年以前	2	1%	昭和20～30年	3	1%	昭和30～40年	7	3%
昭和40～50年	6	3%	昭和50～60年	15	7%	昭和60年～平成	7	3%
平成元年～10年	35	15%	平成10～20年	80	35%	平成20年以降	40	17%
未回答	34	15%						

会費

項目	回答数	割合
あり	125	55%
なし	88	38%
未回答	16	7%

平成24年度　ふじのくにNPO活動基金「新しい公共の場づくりモデル事業」

市民活動団体調査　アンケート集計結果

配布枚数	回収枚数	回収率
419	227	54%

2　貴団体の活動について

問1　貴団体の主な活動場所はどこですか？

場所	回答数	割合	場所	回答数	割合	場所	回答数	割合
団体所有の施設	12	5%	福祉施設	38	17%	教育施設	17	7%
文化施設	20	9%	スポーツ施設	14	6%	子育て支援施設	16	7%
市民活動センター	15	7%	市立公民館	80	35%	自治会公会堂	45	20%
その他	83	37%	未回答	4	2%			

問2　貴団体の平成23年度年間活動規模は、どのくらいでしたか？

金額	回答数	割合	金額	回答数	割合	金額	回答数	割合
1万円未満	30	13%	1～10万円未満	59	26%	10～50万円未満	69	30%
50～100万円未満	13	6%	100～500万円未満	19	8%	500～1,000万円未満	7	3%
1,000～5,000万円未満	3	1%	5000万円以上	4	2%	未回答	23	10%

問3　貴団体の財源について、お聞きします。

（1）財源として含まれるものすべてに回答（複数回答）

財源の種類	回答数	割合	財源の種類	回答数	割合	財源の種類	回答数	割合
会費（入会金含む）	132	58%	事業収入（活動における収益）	50	22%	行政からの補助金	108	48%
行政からの業務委託金	20	9%	民間からの補助金・助成金	25	11%	民間からの委託金	2	1%
寄付金	38	17%	その他	40	18%	未回答	12	5%

（2）今後伸ばしていきたい財源がありましたら2つお書きください。

財源の種類	回答数	割合	財源の種類	回答数	割合	財源の種類	回答数	割合
会費（入会金含む）	18	8%	事業収入（活動における収益）	32	14%	行政からの補助金	41	18%
行政からの業務委託金	15	7%	民間からの補助金・助成金	46	20%	民間からの委託金	2	1%
寄付金	21	9%	その他	5	2%	未回答	124	55%

問4　貴団体の活動は、どのようなタイプですか？

活動のタイプ	回答数	割合
社会的な活動（ボランティア活動など会社や人のために行う活動）	127	56%
仲間内の活動（趣味やスポーツなど自分や仲間のために行う活動）	44	19%
両方の活動	47	21%
未回答	9	4%

問5　今後、貴団体で実施したい社会貢献活動がありましたら、優先順位順に番号でお書きください。

（3つまで回答可）

活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合
保健・医療・福祉の活動	52	23%	社会教育の活動	31	14%	まちづくりに関する活動	67	30%
観光振興に関わる活動	18	8%	農山漁村、中山間地域振興活動	5	2%	学術・文化・芸術・スポーツの活動	37	16%
環境保全に関する活動	41	18%	災害救助に関する活動	15	7%	地域安全に関する活動	36	16%
人権擁護・平和推進に関する活動	4	2%	国際協力に関する活動	4	2%	男女協働参画に関わる活動	10	4%
子どもの健全育成に関わる活動	85	37%	情報化社会の発展に関わる活動	2	1%	科学技術の振興に関わる活動	0	0%
経済活動の活性化に関わる活動	2	1%	職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	1	0%	消費者保護の活動	1	0%
NPO・市民活動支援に関する活動	11	5%	その他	7	3%	未回答	43	19%

問6　現在の活動内容に満足していますか？

項目	回答数	割合
満足している	147	65%
満足していない	69	30%
未回答	11	5%

問7　現在の活動で不足しているものは、何ですか？
優先順位の高いものを3つ選んでください。

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
会員	89	39%	リーダー	44	19%	スタッフ	54	24%
ボランティア	38	17%	事務所	18	8%	活動場所	24	11%
活動資金	66	29%	専門的な技術や技能	14	6%	機材	16	7%
その他	23	10%	未回答	46	20%			

問8　他団体との交流、あるいは協力して社会貢献活動することについて、どう思いますか？

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
活動している	72	32%	活動してみたい	25	11%	場合によっては可能	73	32%
むずかしい	41	18%	その他	6	3%	未回答	0	0%

2　貴団体の活動について

問5　今後、貴団体で実施したい社会貢献活動がありましたら、優先順位順に番号でお書きください。

1位

活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合
保健・医療・福祉の活動	43	19%	社会教育の活動	12	5%	まちづくりに関する活動	24	11%
観光振興に関わる活動	7	3%	農山漁村、中山間地域振興活動	1	0%	学術・文化・芸術・スポーツの活動	17	7%
環境保全に関する活動	21	9%	災害救助に関する活動	3	1%	地域安全に関する活動	5	2%
人権擁護・平和推進に関する活動	2	1%	国際協力に関する活動	2	1%	男女協働参画に関わる活動	1	0%
子どもの健全育成に関わる活動	39	17%	情報化社会の発展に関わる活動	1	0%	科学技術の振興に関わる活動	0	0%
経済活動の活性化に関わる活動	0	0%	職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	0	0%	消費者保護の活動	1	0%
NPO・市民活動支援に関する活動	2	1%	その他	3	1%	未回答	43	19%

2位

活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合
保健・医療・福祉の活動	4	2%	社会教育の活動	12	5%	まちづくりに関する活動	31	14%
観光振興に関わる活動	5	2%	農山漁村、中山間地域振興活動	2	1%	学術・文化・芸術・スポーツの活動	13	6%
環境保全に関する活動	16	7%	災害救助に関する活動	11	5%	地域安全に関する活動	0	0%
人権擁護・平和推進に関する活動	2	1%	国際協力に関する活動	0	0%	男女協働参画に関わる活動	5	2%
子どもの健全育成に関わる活動	26	11%	情報化社会の発展に関わる活動	1	0%	科学技術の振興に関わる活動	0	0%
経済活動の活性化に関わる活動	1	0%	職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	0	0%	消費者保護の活動	0	0%
NPO・市民活動支援に関する活動	2	1%	その他	2	1%	未回答	0	0%

3位

活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合	活動分野	回答数	割合
保健・医療・福祉の活動	5	2%	社会教育の活動	7	3%	まちづくりに関する活動	12	5%
観光振興に関わる活動	6	3%	農山漁村、中山間地域振興活動	2	1%	学術・文化・芸術・スポーツの活動	7	3%
環境保全に関する活動	4	2%	災害救助に関する活動	1	0%	地域安全に関する活動	21	9%
人権擁護・平和推進に関する活動	0	0%	国際協力に関する活動	2	1%	男女協働参画に関わる活動	4	2%
子どもの健全育成に関わる活動	20	9%	情報化社会の発展に関わる活動	0	0%	科学技術の振興に関わる活動	1	0%
経済活動の活性化に関わる活動	1	0%	職業能力開発・雇用機会拡充支援活動	1	0%	消費者保護の活動	0	0%
NPO・市民活動支援に関する活動	7	3%	その他	2	1%	未回答	0	0%

問7　現在の活動で不足しているものは、何ですか？

優先順位の高いものを3つ選んでください。

1位

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
会員	89	39%	リーダー	24	11%	スタッフ	22	10%
ボランティア	8	4%	事務所	7	3%	活動場所	7	3%
活動資金	7	3%	専門的な技術や技能	2	1%	機材	4	2%
その他	11	5%	未回答	46	20%			

2位

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
会員	0	0%	リーダー	20	9%	スタッフ	28	12%
ボランティア	21	9%	事務所	8	4%	活動場所	12	5%
活動資金	18	8%	専門的な技術や技能	5	2%	機材	5	2%
その他	4	2%	未回答	0	0%			

3位

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
会員	0	0%	リーダー	0	0%	スタッフ	4	2%
ボランティア	9	4%	事務所	3	1%	活動場所	5	2%
活動資金	41	18%	専門的な技術や技能	7	3%	機材	7	3%
その他	8	4%	未回答	0	0%			

Ⅱ　協働について

市民が推進している協働のまちづくりについて伺います。

問1 「協働」という言葉を知っていますか？

項目	回答数	割合
知っている	180	79%
知らない	39	17%
未回答	8	4%

問2 「協働」の意味を知っていますか？

項目	回答数	割合
知っている	155	68%
知らない	56	25%
未回答	16	7%

問3　協働による活動や事業を実施したことがありますか？

項目	回答数	割合
ある	66	29%
ない	140	62%
未回答	21	9%

問4　貴団体は、他者との協働が必要であると思いますか？

項目	回答数	割合
必要である	112	49%
必要ではない	105	46%
未回答	10	4%

必要ではないと答えた人の理由

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
協働という意味をしらないから	10	10%	協働の必要性を感じないから	30	29%	自分達だけで活動したいから	27	26%
複雑になり面倒だから	22	21%	協働パートナーに気を使わなくていいから	11	10%	協働ということを勉強してから	13	12%
その他	23	22%	未回答	5	5%			

問5　貴団体にとって必要なものはなんですか？（複数回答）

問4で他社との協働必要と答えた人のみ

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
他団体との交流・連携・協働	89	79%	行政との交流・連携・協働	71	63%	企業との交流・連携・協働	38	34%
その他	2	2%	未回答	4	4%			

問6　貴団体は、どのような協働の方法を望みますか？（複数回答）

問4で他社との協働必要と答えた人のみ

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
情報交換・意見交換	75	67%	施策や事業の企画・立案	27	24%	事業委託	12	11%
事業補助	34	30%	事業共催	41	37%	後援	19	17%
事業協力	48	43%	その他	0	0%	未回答	5	4%

問7　今後、貴団体にとって協働のまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要であると思いますか？（複数回答）

問4で他社との協働必要と答えた人のみ

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
市民活動の実態把握	22	20%	市民活動への理解	23	21%	社会貢献活動への理解	35	31%
協働への理解と意識	24	21%	情報提供	34	30%	活動する機会	21	19%
活動する場所	16	14%	参加しやすい仕組み	48	43%	相談窓口	11	10%
支援制度の充実	27	24%	人材発掘・育成	37	33%	リーダーの育成	29	26%
市民活動団体の自立	5	4%	行政施策・制度への理解	10	9%	事業者への理解	4	4%
協働提案の場	7	6%	その他	2	2%	未回答	7	6%

Ⅲ　市民活動センターについて

問1　磐田市市民活動センターを知っていますか？

項目	回答数	割合
知っている	168	74%
知らない	45	20%
未回答	14	6%

知っていると答えた人

項目	回答数	割合
利用している	59	35%
利用したことがある	38	23%
聞いたことがある	55	33%
未回答	16	10%

問2　市民活動を推進するために、市民活動センター及び行政に求めることはありますか？
（1）市民活動センターに求めること

（2）行政に求めること

問3　市民活動センターでは、会員の皆さんへのお得な情報や講座のご案内、市民活動を応援するために印刷機・ミーティングスペースを用意しています。
（1）市民活動センターに会員登録をしますか？（登録無料）

項目	回答数	割合
登録する	87	38%
登録しない	90	40%
未回答	50	22%

問3（1）で登録すると答えて、お知らせを希望する人（方法）

項目	回答数	割合
Eメール	31	36%
FAX	24	28%
郵送	11	13%
未回答	21	24%

その他の意見

Ⅰ　貴団体の活動について

問1	貴団体の活動場所はどこですか？

10. その他

自治会内	4
河川	5
公園等	11
道路	4
花壇	3
借家	2
野外（野外施設含む）	4
市内公共施設	7
自宅	3
神増坂	
ひょうたん池とその周辺	
地域内文化施設	
市立総合病院	
桶ヶ谷川（古川）排水路周辺（田原公民館南）	
史跡　遠江国分寺公園	2
低開発国	
農地	
運営ショップ	
教会	
DOLCE倉庫	

休耕田、放置林、祝川
見付地区の神社・寺
百貨店
自衛隊施設
SBSマイホームセンター磐田展示場（家族探しの会月1回開催）
市有地
海岸
保健所

問3　貴団体の財源について、お聞きします

8. その他

自治会からの補助金（助成金）	15
参加人員数に比例し、会社より補助	
法人からの助成金	
自己負担による	2
資源回収	
磐田市社会福祉協議会からの助成金	4
当事者団体からの援助	
静岡県グリーンパーク	
大会開催の収益金等	
活動時かかった分の材料費等を人数で割った金額分をその都度集金する	
本部からの助成・個人負担	
医療費・交通費は新しい飼い主負担（活動分担支援金含む）	
労金利用高還元金	

問5	今後、貴団体で実施したい社会貢献活動がありましたら、優先順位に番号でお書きください。

20. その他

子育て中の保護者の居場所づくり
敬老会や施設への慰問演奏
ひとり暮らしの高齢者の買物などの対策
ストレスマネジメント教育など
多文化共生に関わる活動
東北支援
健康増進

問7	現在の活動で不足しているものは、何ですか？

10.その他

メンバー
会員の地域に対する想い
自治会活動ですが自治会会員の理解がうすくなった（協力）
メンバーの多忙による準備不足
時間、健康な体
運転ボランティア、道具類の置き場所
人材不足、やる気のなさ
時間
後継者
道具類の収納場所
借りれる練習場所不足

親の意識
公的な会場不足　研賛する会場がとりにくい
参加者の時間的、精神的なゆとり
資材管理の倉庫管理場所
会員の高齢化による活動停滞
行政の支援、アドバイス

問8	**他団体との交流、あるいは協力して社会貢献活動することについてどう思いますか？**

5.その他

公民館発表会、地元での催しへの参加
それほどのボランティアではないかもしれない
今現在の活動で満足している
特に考えていません。地元に根づくまで「今」を大事にしている
他障害団体の運営の仕方を知りたい

Ⅱ　協働について

問4	貴団体は、他者との協働が必要であると思いますか？

2．必要ではないとこたえた人（理由）

7．その他

他の活動もしているので、時間に余裕がない
規模が小さいので
自治会活動の範囲内で活動しているから！！
高齢者である為（平均80才、MAX100才）
ボーイスカウトのカリキュラムに添って活動している為、活動になじまないと思われる。 但し、関連活動とか余力があれば参加してみたい
それほどたいしたボランティアではないと思います
自分たちの組織や活動をもう少しきちんとしたい
今は、必要としていない
現活動以上に時間がとれません
場合によっては可能（必要）
目的を達する活動地域が市外であるから
今のところ浜松市内での活動が主となっているから
特殊な面があり、協働は難しい
身体的に余裕なし
立ち上げたばかりで継続する事を第1に考えて、安定した次を考えたい
今のところ　むずかしいです
自分達の活動をもっと安定・充実させてから考える
現在の自団体の活動以上のことは会員が増え団体に力があればいろいろな仕掛けはできるが、 やりきれないから体協とはパートナーシップをもって取り組んでいる

問7	今後、貴団体にとって協働のまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要であると思いますか？

17. その他

事務所の設置→事業推進のため、常時関係者や関心のある人が集まれる場所
個々の対応での活動ですんでいるから
磐田市以外の実体、情報など
会員相互の親睦を大事にしたい

Ⅴ　付録

１　アンケート調査表

市民活動団体実態調査(基本情報)

※1ページ目の「団体基本情報」及び「活動内容」にご記入いただいた情報は、ホームページなどへの公開を予定しています。公開したくない情報につきましては、各項目の□欄にレ点をお願いします。

※2～4ページのアンケート集計結果につきましては、集計が終わり次第お知らせいたします。

団体基本情報	(フリガナ) □団体・グループ名	
	(フリガナ) □代表者	
	□所在地(連絡先)	〒
	□電話 / FAX	Tel ／ Fax
	□E-mail	
	□ホームページ/ブログ	

活動内容

□活動の種類
※主な活動に◎、他は○をつけてください(複数可)

1 保健、医療、福祉	11 国際協力
2 社会教育	12 男女共同参画
3 まちづくり	13 子どもの健全育成
4 観光振興	14 情報化社会発展
5 農山漁村、中山間地域振興	15 科学技術振興
6 学術、文化、芸術、スポーツ	16 経済活動活性化
7 環境保全	17 職業能力開発、雇用機会拡充支援
8 災害救助	18 消費者保護
9 地域安全	19 NPO・市民活動支援
10 人権擁護、平和推進	20 その他

□活動目的

□具体的な活動内容
①
②
③

□主な活動範囲　※該当する番号に○をつけてください(複数可)

1. 見付　2. 中泉　3. 今之浦　4. 岩田、大藤、向笠　5. 西貝、御厨、南御厨、田原　6. 天竜、長野、於保
7. 福田　8. 竜洋　9. 豊田　10. 豊岡　11. 磐田市全域　12. 静岡県西部　13. 静岡県内　14. その他

□会員数	男:　人	女:　人	□平均年齢　歳代
□設立年度	S ・ H　年	□会費	有 (　円/年) ・ 無
□団体・グループPR		□会員募集	
□協働で実施してみたいこと ・自団体だけでは実現が難しい社会貢献活動 ・他者の力を借りることで効果が上がる活動など			
記入者(役職含む)		記入年月日	平成24年　月　日

ご協力ありがとうございます。引き続き、裏面のアンケートにご回答ください。

Ⅰ　貴団体の活動について

※該当する□にレ点または数字での記入等をお願いします

問1　貴団体の主な活動場所は、どこですか？

□1. 団体所有の施設　□2. 福祉施設　□3. 教育施設　□4. 文化施設
□5. スポーツ施設　□6. 子育て支援施設　□7. 市民活動センター　□8. 市立公民館
□9. 自治会公会堂　□10. その他〔　　〕

問2　貴団体の平成23年度年間活動規模は、どのくらいでしたか？

□1. 1万円未満　□2. 1～10万円未満　□3. 10～50万円未満
□4. 50～100万円未満　□5. 100～500万円未満　□6. 500～1，000万円未満
□7. 1，000～5，000万円未満　□8. 5，000万円以上

問3　貴団体の財源について、お聞きします。

（1）財源として含まれるものには、すべてレ点をお願いします。

□1. 会費（入会金含む）　□2. 事業収入（活動における収益）　□3. 行政からの補助金
□4. 行政からの業務委託金　□5. 民間からの補助金・助成金　□6. 民間からの委託金
□7. 寄付金　□8. その他〔　　〕

（2）今後伸ばしていきたい財源がありましたら、
前問の番号で2つお書きください。　□□

問4　貴団体の活動は、どのようなタイプですか？

□1. 社会的な活動（ボランティア活動など社会や人のために行う活動）
□2. 仲間内の活動（趣味やスポーツなど自分や仲間のために行う活動）
□3. 両方の活動

問5　今後、貴団体で実施したい社会貢献活動がありましたら、
優先順位順に番号でお書きください。（3つまで）　□□□

1．保健・医療・福祉の活動　2．社会教育の活動　3．まちづくりに関する活動
4．観光振興に関わる活動　5．農山漁村、中山間地域振興活動　6．学術・文化・芸術・スポーツの活動
7．環境保全に関する活動　8．災害救助に関する活動　9．地域安全に関する活動
10．人権擁護・平和推進に関する活動　11．国際協力に関する活動　12．男女共同参画に関わる活動
13．子どもの健全育成に関わる活動　14．情報化社会の発展に関わる活動　15．科学技術の振興にかかわる活動
16．経済活動の活性化に関わる活動　17．職業能力開発・雇用機会拡充支援活動　18．消費者保護の活動
19．NPO・市民活動支援に関する活動　20．その他〔　　〕

問6　現在の活動内容に満足していますか？

□1. 満足している　〔理由：　　〕
□2. 満足していない　〔理由：　　〕

問7　現在の活動で不足しているものは、何ですか？

優先順位の高いものを3つ選び、1～3の番号をお書きください。

□1. 会員　□2. リーダー　□3. スタッフ　□4. ボランティア
□5. 事務所　□6. 活動場所　□7. 活動資金
□8. 専門的な技術や技能〔具体的に：　　〕
□9. 機材〔具体的に：　　〕　□10. その他〔　　〕

問8　他団体との交流、あるいは協力して社会貢献活動することについて、どう思いますか？

□1. 活動している　□2. 活動したい　□3. 場合によっては可能
□4. むずかしい　□5. その他〔　　〕

Ⅱ　協働について　　※該当する□にレ点または文字での記載をお願いします

磐田市が推進している協働のまちづくりについて伺います。

問1 「協働」という言葉を知っていますか？

□1. 知っている　　□2. 知らない

問2 「協働」の意味を知っていますか？

□1. 知っている　　□2. 知らない

問3 協働による活動や事業を実施したことがありますか？

□1. ある

活動・事業名	協働のパートナー

（スペースが足りない場合は別紙も可）

□2. ない

「協働」とは・・・

共通の目的を達成し、よりよい地域社会を実現するための手段。
市民活動団体・事業所・市そして市民が協力し、得意分野を活かすことで、地域の困りごとを解決すること。
磐田市総合計画の中でも協働のまちづくりによる自治の実現が謳われています。

≪協働の基本理念≫

- 相互に目的を理解し、目的意識を共有すること
- 相互に対等な立場で、自主性を尊重すること
- 相互の特性及び役割を理解し、協力すること
- 相互に必要な情報を提供し、共有すること

問4 貴団体は、他者との協働が必要であると思いますか？

□1. 必要である ⇒問5へ

□2. 必要ではない(複数回答可)　※回答後、次ページ「Ⅲ 市民活動センターについて」へ

＜理由＞
- □1. 「協働」という意味をよく知らないから
- □2. 協働の必要性を感じないから
- □3. 自分たちだけで活動したいから
- □4. 複雑になり面倒だから
- □5. 協働パートナーに気を使わなくてはならないから
- □6. 協働ということを勉強してから
- □7. その他〔　　〕

問5 貴団体にとって必要であるものにレ点をお付けください。(複数回答可)

□1. 他団体との交流・連携・協働
□2. 行政との交流・連携・協働
□3. 企業との交流・連携・協働
□4. その他〔　　〕

問6 貴団体は、どのような協働の方法を望みますか？(複数回答可)

□1. 情報交換・意見交換　□2. 施策や事業の企画・立案　□3. 事業委託
□4. 事業補助　□5. 事業共催　□6. 後援
□7. 事業協力　□8. その他〔　　〕

問7 今後、貴団体にとって協働のまちづくりを進めていくために、どのようなことが必要であると思いますか？(複数回答可)

□1. 市民活動の実態把握　□2. 市民活動への理解　□3. 社会貢献活動への理解
□4. 協働への理解と意識　□5. 情報提供　□6. 活動する機会
□7. 活動する場所　□8. 参加しやすい仕組み　□9. 相談窓口
□10. 支援制度の充実　□11. 人材発掘・育成　□12. リーダーの育成
□13. 市民活動団体の自立　□14. 行政施策・制度への理解　□15. 事業者への理解
□16. 協働提案の場　□17. その他〔　　〕

問8　貴団体が捉える地域社会の困りごとやあったらいいなと思われる
　　サービスがありましたら、お書きください。
（1）地域社会の困りごとなど

（2）暮らしやすくなるサービスなど

Ⅲ　市民活動センターについて

問1　磐田市市民活動センターを知っていますか？
☐1. 知っている　⇒　☐1. 利用している
　　☐2. 利用したことがある
　　☐3. 聞いたことがる

☐2.　知らない

磐田市市民活動センターは、市民活動・ボランティア・NPOなどに関するさまざまな情報収集発信機能・相談機能・印刷作業機能・打ち合わせ会議などで使われています。
また、講座やパネルなども開し、市民のみなさんのまちづくり活動をいろいろな形で応援しています。
＊**開館時間**：月～土　8:30～17:00
＊**豊田支所内**（日・祝日を除く）

問2　市民活動を推進するために、市民活動センター及び行政に求めることはありますか？
（1）市民活動センターに求めること

（2）行政に求めること

問2　市民活動センターでは、会員の皆様へのお得な情報や講座のご案内、市民活動を応援するために印刷機器・ミーティングスペースを用意しています。
（1）市民活動センターに会員登録を希望しますか？（登録無料）
☐1. 登録する　⇒講座やお得な情報のお知らせを希望する
　　☐1. Eメール　☐2. FAX　☐3. 郵送
☐2. 希望しない

問3　本調査は、市内の全市民活動団体を対象として実施しています。
あなたの知っている市民活動団体を教えていただけますか。

団　体　名	団　体　名	団　体　名

☆ご協力いただき、ありがとうございました。
☆必要があれば、市民活動センターから連絡させていただきます。
☆集計結果がまとまり次第報告いたします。

平成24年度　市民活動団体実態調査

報告書

平成24年1月

発行：　特定非営利活動法人　磐田まちづくりネットワーク
〒438-0077　磐田市国府台14番地3
TEL＆FAX：0538-36-1890
E-mail：center@za.tnc.ne.jp